

# 長野原一本松遺跡 (7)

ハツ場ダム建設工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書第42集

長野原一本松遺跡 (7)

ハツ場ダム建設工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書第42集

二〇一四

国土交通省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



2014

国土交通省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

# 長野原一本松遺跡（7）

八ツ場ダム建設工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書第42集

2014

国 土 交 通 省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



▲ 長野原一本松道跡 6・96区全景(西から)

(写真右側が吾妻川の谷，中央部の造成地は代替え農地)

長野原一本松道跡は、吾妻川左岸の河岸段丘上に立地する。周辺一帯は、山地から吾妻川に下る急峻な地形を呈している。この地域の道跡は、こうした山間に開けた僅かな平坦地に集中して分布している。



長野原一本松遺跡 7区遠景(西から、写真右上が国道145号の吾妻川を渡る「眼鏡橋」)



長野原一本松遺跡 7・8区遠景(北から、写真左上方が国道145号の吾妻川を渡る「眼鏡橋」)



長野原一本松遺跡 6-20号住居跡全景(西から, 29頁参照)



長野原一本松遺跡 6-20号住居跡 埋甕炉内礫出土状況(南東から, 29頁参照)



長野原一本松遺跡 6区全景(上空から(右が北), 16頁参照)



長野原一本松遺跡 6-1・2号ヤックラ(南から, 147頁参照)



長野原一本松遺跡 6区基本土層

## 序

長野原一本松遺跡は、ハツ場ダム建設工事に伴う発掘調査として最初に実施された遺跡で、当事業団により平成6年度から平成20年度にかけて、足かけ15年にわたって継続的に発掘調査が行われ、平成20年度をもって終了となりました。

一方、この発掘調査に並行して平成10年度からは当事業団により整理事業が実施され、平成14年度から平成24年度にかけて、長野原一本松遺跡(1)～(6)の6冊の発掘調査報告書を刊行してきました。

これまでの調査で、山間を深く刻んで流れる吾妻川の河岸段丘上の長野原一本松遺跡では、群馬県内でも有数な縄文時代中期を中心とした大規模な環状集落が営まれたことが明らかに、数多くの住居跡、掘立柱建物跡、土坑、配石遺構などが発見されております。

本書『長野原一本松遺跡(7)』は、平成17・19・20年度に発掘調査された遺構・遺物の報告で、一連の整理事業が完結することで、最終の調査報告書となります。調査対象地は環状集落の周辺部にあたり、その中心部からはずれた場所に位置していますが、環状集落の広がりや境界やその集落景観を考える上で貴重な資料を提供するものです。また、近世の掘立柱建物群の発見は、現代に至る集落の変遷過程を考える上でひとつの資料を提供したとも言えます。

発掘調査から報告書刊行に至るまで、国土交通省ハツ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会、および長野原町教育委員会をはじめとする関係機関や地元関係者の皆様には、格別のご指導とご高配を賜りました。本報告書を上梓するにあたり衷心より感謝の意を表し、併せて本書が長野原町、吾妻郡内、ひいては群馬県の歴史を解明する上で、新たな資料として活用されることを願い序といたします。

平成26年1月

公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 上原 訓 幸





## 例 言

- 1 本書はハツ場ダム建設工事に伴って発掘調査された、長野原一本松遺跡の発掘調査報告書である。すでに刊行された報告書の内容は以下のとおりである。

「長野原一本松遺跡(1)」2002……平成6～8年度調査成果の報告

「長野原一本松遺跡(2)」2007……平成9～11年度調査成果の報告

「長野原一本松遺跡(3)」2008……平成12・13年度調査成果の報告

「長野原一本松遺跡(4)」2008……平成14年度調査成果の報告

「長野原一本松遺跡(5)」2009……平成15年度調査成果の報告

「長野原一本松遺跡(6)」2013……平成16年度調査成果の報告

本書(7)は平成17・19・20年度調査の成果報告である。

- 2 長野原一本松遺跡は群馬県吾妻郡長野原町大字一本松1005-1、1006、1007-1、1007-2、1011、1056、1057-1、1057-2、1070、1071、字久之桐1101に所在する。
- 3 発掘調査はハツ場ダム建設工事に伴うもので、建設省(現国土交通省)の委託を受け、群馬県教育委員会が引団法人(現公益財団法人)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して実施された。
- 4 平成17・19・20年度の発掘調査期間と調査体制は以下のとおりである。

発掘調査期間 平成17年度 平成17年4月1日～平成17年11月11日

平成19年度 平成19年4月1日～平成19年5月31日

平成20年度 平成20年6月1日～平成20年6月30日

発掘調査面積 平成17年度 21,220 m<sup>2</sup>

平成19年度 1,650 m<sup>2</sup>

平成20年度 1,589 m<sup>2</sup>

合 計 24,459 m<sup>2</sup>

発掘調査担当者 平成17年度 小野和之・友廣哲也・飯田陽一・瀧川仲男・篠原正洋・関 俊明・森田真一

平成19年度 飯塚卓二・須田正久

平成20年度 須田正久・横尾 豊

遺跡掘削工事請負 平成17年度 株式会社 測研

平成19年度 株式会社 測研

平成20年度 株式会社 測研

委 託 業 務 平成17年度 地上測量：株式会社 測研 空中写真撮影：株式会社 測研

平成19年度 地上測量：株式会社 測研 空中写真撮影：—

平成20年度 地上測量：株式会社 測研 空中写真撮影：株式会社 測研

- 5 整理事業の期間と体制は以下のとおりである。

整 理 期 間 平成24年度 平成24年4月1日～平成25年3月31日

平成25年度 平成25年4月1日～平成25年10月31日

整 理 担 当 平成24年度 小野和之(専門官)

平成25年度 坂口 一(資料課長(主席専門員))

- 6 本書作成の担当は以下のとおりである。

編集担当 小野和之・坂口 一

本文執筆 小野和之：第3章第1・2節、第4章  
飯森康広(専門員(総括))：第4章第2節  
坂口 一：第1・2章、第3章第3節

遺物観察 縄文土器・石器：小野和之 陶磁器・金属器：黒澤照弘(主任調査研究員)

編集整理業務 デジタル編集：齊田智彦(主任調査研究員) 遺物写真撮影：佐藤元彦(補佐(総括))  
保存処理：関 邦一(補佐(総括))

整理補助員 新保純子・井草峯子・足立やよい・安カ川京美・中嶋公江・日野亮子・川津えみ子

- 7 石材鑑定 渡辺弘幸(甘楽町立新屋小学校教諭)

- 8 出土遺物及び図面・写真等の記録は群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。

- 9 発掘調査及び本書の作成にあたっては下記の機関、諸氏より有益なご教示、ご指導を頂いた。記して感謝の意を表する。(敬称略)

国土交通省関東地方整備局八ツ場ダム工事事務所、長野原町教育委員会

## 凡 例

- 1 長野原一本松遺跡における遺構測量は、世界測地系国家座標(座標第IX系)を用いている。

真北方向角は+0° 18' 38.58" (東偏)である。

遺構図の中で使用した北方位は、すべて座標北を示す。

- 2 等高線・遺構断面図等に記した数値は海拔標高を示す。

- 3 付図を含む遺構図の縮尺は、原則として以下の通りである。

遺構全体図(付図)：1/1000 地区別全体図：1/400 住居跡：1/60 炬：1/30

焼土：1/40 埋裏：1/20、1/30 土坑：1/40 石列・石垣：1/100

ヤックラ：1/40、1/60 掘立柱建物跡：1/60、1/80 その他は図中に明記

- 4 遺物実測図の縮尺は、原則として以下の通りである。

土器：1/3、1/4 土製円盤：1/3

石器・石皿・台石・丸石等の大型品：1/4、1/6、1/8 打製石斧・磨石・敲石：1/3

石鏃・石鏃：1/1 鉄製品・銭貨：1/2

- 5 遺物図に使用した網点は以下のことを示す。

遺物 石器使用痕 

- 6 第3章第3節6の「ヤックラ」とは、基本的には集石遺構の一種であるが、特定の目的で短期間に構築されたものではなく、畑耕作で出てきた耕作に支障を及ぼす礫を、長期間にわたって地境などに積んできたもので、集石行為を一義的な目的とした集石遺構とは区別した。これに相当する考古学的な用語が存在しないことから、地元で呼称している「ヤックラ」を遺構名とした。

・遺物写真の縮尺は原則として遺物図とほぼ同じである。

・遺構の計測値単位は原則としてcmを使用し、遺物についても同様である。また、石器の重量単位はgを用いた。

# 目 次

口絵	第3節 平安時代以降の遺構と遺物	87
序	1 住居跡	87
例言・凡例	2 竪穴状遺構	89
挿図目次・表目次・図版目次	3 掘立柱建物跡	89
第1章 長野原一本松遺跡の発掘調査	4 土坑	103
第1節 発掘調査に至る経緯	5 ビット	141
第2節 発掘調査の方法	6 石列・石垣・ヤックラ	143
第3節 基本層序	7 溝	150
第4節 発掘調査の経過	8 遺構外出土遺物	151
第2章 地理的及び歴史的環境	第4章 調査の総括	
第1節 地理的環境	第1節 平成17・19・20年度の調査成果	153
第2節 歴史的環境	第2節 7区掘立柱建物群の検討	154
第3章 検出された遺構と遺物	長野原一本松遺跡既刊報告書の補遺編	157
第1節 遺構・遺物の概要	「長野原一本松遺跡(2)」2007	157
第2節 縄文時代の遺構と遺物	「長野原一本松遺跡(3)」2008	161
1 住居跡	「長野原一本松遺跡(4)」2008	161
2 掘立柱建物跡	「長野原一本松遺跡(5)」2009	165
3 埋裏	「長野原一本松遺跡(6)」2013	166
4 土坑	出土遺物観察表	167
5 遺構外出土遺物	補遺編出土遺物観察表	202
	遺構一覧表	209
	写真図版	215
	報告書抄録	
	奥付	
	付図:長野原一本松遺跡全体図(1/1,000)	

# 插图目次

第1図	長野原一本松道跡位置図	1	第65図	土坑(20)	15区土坑(縄文時代)	64	
第2図	グッド設定図	2	第66図	土坑(21)	15・96区土坑(縄文時代)	65	
第3図	基本順序	4	第67図	土坑(22)	96区土坑(縄文時代)	66	
第4図	長野原一本松道跡調査区及び経路図	4	第68図	土坑(23)	96区土坑(縄文時代)	67	
第5図	周辺の道跡	5	第69図	土坑(24)	96区土坑(縄文時代)	68	
第6図	長野原一本松道跡全体図	14	第70図	土坑(25)	96区土坑(縄文時代)	69	
第7図	3・13区全体図	15	第71図	土坑(26)	96区土坑(縄文時代)	70	
第8図	4区全体図	16	第72図	土坑(27)	96区土坑(縄文時代)	71	
第9図	6・16区全体図	16	第73図	土坑(28)	96区土坑(縄文時代)	72	
第10図	5・15区全体図(縄文面)	17	第74図	遺構外出土土器(1)	73		
第11図	5・15区全体図(平安～近世)	17	第75図	遺構外出土土器(2)	74		
第12図	6・96区全体図(縄文面)	18	第76図	遺構外出土土器(3)	75		
第13図	6・96区全体図(平安～近世)	19	第77図	遺構外出土土器(4)	76		
第14図	7・8・17・18区トレンチ配置図	20	第78図	遺構外出土土器(5)	77		
第15図	7・8・17区全体図	21	第79図	遺構外出土土器(6)	78		
第16図	4-22号住居跡	23	第80図	遺構外出土土器(7)	79		
第17図	4-22号住居跡出土遺物	23	第81図	遺構外出土土器(8)	80		
第18図	6-13号住居跡	24	第82図	遺構外出土土器(9)	81		
第19図	6-13号住居跡出土遺物	24	第83図	遺構外出土土器(10)	82		
第20図	6-18号住居跡(1)	25	第84図	遺構外出土土器(1)	83		
第21図	6-18号住居跡(2)	26	第85図	遺構外出土土器(2)	84		
第22図	6-18号住居跡出土遺物(1)	26	第86図	遺構外出土土器(3)	85		
第23図	6-18号住居跡出土遺物(2)	27	第87図	遺構外出土土器(4)	86		
第24図	6-19号住居跡	28	第88図	7-1号住居跡(1)	87		
第25図	6-19号住居跡出土遺物	28	第89図	7-1号住居跡(2)	88		
第26図	6-20号住居跡	29	第90図	7-1号住居跡出土遺物	88		
第27図	6-20号住居跡出土遺物(1)	29	第91図	4-7号竪穴状遺構	89		
第28図	6-20号住居跡出土遺物(2)	30	第92図	4-7号竪穴状遺構出土遺物	89		
第29図	6-21号住居跡	31	第93図	7区孤立柱建物跡全体図	90		
第30図	6-21号住居跡出土遺物	31	第94図	7-1号孤立柱建物跡	92		
第31図	6-22号住居跡(1)	32	第95図	7-2号孤立柱建物跡(1)	93		
第32図	6-22号住居跡(2)	33	第96図	7-2号孤立柱建物跡(2)	94		
第33図	6-22号住居跡出土遺物(1)	33	第97図	7-3号孤立柱建物跡	95		
第34図	6-22号住居跡出土遺物(2)	34	第98図	7-4号孤立柱建物跡	96		
第35図	6-23号住居跡(1)	34	第99図	7-5号孤立柱建物跡	97		
第36図	6-23号住居跡(2)	35	第100図	7-6号孤立柱建物跡	99		
第37図	6-24号住居跡	36	第101図	7-7号孤立柱建物跡	100		
第38図	6-24号住居跡出土遺物(1)	37	第102図	7-8号孤立柱建物跡	101		
第39図	6-24号住居跡出土遺物(2)	38	第103図	7-9号孤立柱建物跡	102		
第40図	6-24号住居跡出土遺物(3)	39	第104図	土坑(1)	3区土坑(平安時代以降)	104	
第41図	6-24号住居跡出土遺物(4)	40	第105図	土坑(2)	3・4区土坑(平安時代以降)	105	
第42図	6-24号住居跡出土遺物(5)	41	第106図	土坑(3)	4区土坑(平安時代以降)	106	
第43図	6-1号孤立柱建物跡	42	第107図	土坑(4)	6区土坑(平安時代以降)	107	
第44図	3-1号埋費	43	第108図	土坑(5)	6区土坑(平安時代以降)	108	
第45図	3-1号埋費出土遺物	43	第109図	土坑(6)	6-25土坑(平安時代以降)	109	
第46図	土坑(1)	4・5・6区土坑(縄文時代)	45	第110図	土坑(7)	6区土坑(平安時代以降)	110
第47図	土坑(2)	6区土坑(縄文時代)	46	第111図	土坑(8)	6・96区土坑(平安時代以降)	111
第48図	土坑(3)	6区土坑(縄文時代)	47	第112図	土坑(9)	7区土坑(平安時代以降)	112
第49図	土坑(4)	6区土坑(縄文時代)	48	第113図	土坑(10)	7区土坑(平安時代以降)	113
第50図	土坑(5)	6区土坑(縄文時代)	49	第114図	土坑(11)	7区土坑(平安時代以降)	114
第51図	土坑(6)	6区土坑(縄文時代)	50	第115図	土坑(12)	7区土坑(平安時代以降)	115
第52図	土坑(7)	6区土坑(縄文時代)	51	第116図	土坑(13)	7区土坑(平安時代以降)	116
第53図	土坑(8)	6・7区土坑(縄文時代)	52	第117図	土坑(14)	7区土坑(平安時代以降)	117
第54図	土坑(9)	7区土坑(縄文時代)	53	第118図	土坑(15)	7区土坑(平安時代以降)	118
第55図	土坑(10)	7区土坑(縄文時代)	54	第119図	土坑(16)	7区土坑(平安時代以降)	119
第56図	土坑(11)	7・8・15区土坑(縄文時代)	55	第120図	土坑(17)	7区土坑(平安時代以降)	120
第57図	土坑(12)	15区土坑(縄文時代)	56	第121図	土坑(18)	7区土坑(平安時代以降)	121
第58図	土坑(13)	15区土坑(縄文時代)	57	第122図	土坑(19)	7区土坑(平安時代以降)	122
第59図	土坑(14)	15区土坑(縄文時代)	58	第123図	土坑(20)	7区土坑(平安時代以降)	123
第60図	土坑(15)	15区土坑(縄文時代)	59	第124図	土坑(21)	7区土坑(平安時代以降)	124
第61図	土坑(16)	15区土坑(縄文時代)	60	第125図	土坑(22)	7区土坑(平安時代以降)	125
第62図	土坑(17)	15区土坑(縄文時代)	61	第126図	土坑(23)	7区土坑(平安時代以降)	126
第63図	土坑(18)	15区土坑(縄文時代)	62	第127図	土坑(24)	7区土坑(平安時代以降)	127
第64図	土坑(19)	15区土坑(縄文時代)	63	第128図	土坑(25)	7区土坑(平安時代以降)	128

第1298例	土坑(26)	7区土坑(平安時代以降)	出土遺物	129	第1488例	6-1・2号ヤックラ	出土遺物	148
第1308例	土坑(27)	7区土坑(平安時代以降)	出土遺物	130	第1498例	96-1号ヤックラ	出土遺物	149
第1318例	土坑(28)	7区土坑(平安時代以降)	出土遺物	131	第1508例	96-1・2・3・4号溝		150
第1328例	土坑(29)	7区土坑(平安時代以降)	出土遺物	132	第1518例	6・7区溝遺跡		151
第1338例	土坑(30)	7区土坑(平安時代以降)	出土遺物	133	第1528例	3・4・6・7区陶磁器		151
第1348例	土坑(31)	7・8区土坑(平安時代以降)		134	第1538例	7・8・13・15・96区陶磁器		152
第1358例	土坑(32)	8区土坑(平安時代以降)	出土遺物	135	第1548例	3・6・7・8区鉄製品		152
第1368例	土坑(33)	8区土坑(平安時代以降)	出土遺物	136	第1558例	7区掘立柱建物跡全体図		155
第1378例	土坑(34)	8区土坑(平安時代以降)	出土遺物	137	第1568例	「長野原一本松遺跡(2)」補遺編出土遺物(1)		157
第1388例	土坑(35)	13・17区土坑(平安時代以降)		138	第1578例	「長野原一本松遺跡(2)」補遺編出土遺物(2)		158
第1398例	土坑(36)	96区土坑(平安時代以降)	出土遺物	139	第1588例	「長野原一本松遺跡(2)」補遺編出土遺物(3)		159
第1408例	土坑(37)	96区土坑(平安時代以降)	出土遺物	140	第1598例	「長野原一本松遺跡(2)」補遺編出土遺物(4)		160
第1418例	土坑(38)	96区土坑(平安時代以降)	出土遺物	141	第1608例	「長野原一本松遺跡(2)」(3)(4)補遺編出土遺物		161
第1428例	ピット(1)	4区ピット	出土遺物	142	第1618例	「長野原一本松遺跡(4)」補遺編出土遺物(1)		162
第1438例	ピット(2)	4・16区ピット	出土遺物	143	第1628例	「長野原一本松遺跡(4)」補遺編出土遺物(2)		163
第1448例	7-1号石列	出土遺物		144	第1638例	「長野原一本松遺跡(4)」補遺編出土遺物(3)		164
第1458例	3-1号石垣			145	第1648例	「長野原一本松遺跡(4)」(5)補遺編出土遺物		165
第1468例	7-1号石垣	出土遺物		146	第1658例	「長野原一本松遺跡(5)」(6)補遺編出土遺物		166
第1478例	5-1号ヤックラ	出土遺物		147				

## 表目次

表1	調査工程表	5	表4	建物総括表	156
表2	周辺の道路一覧表	11	表5	出土遺物総括表	167
表3	7区掘立柱建物仕様一覧	154	表6	遺構一覧表	209

## 写真図版目次

Pl. 1	1	3区全景(北西より)	5	6-22号住居跡全景(南より)	
	2	3・13区全景(西より)	Pl. 6	1	6-22号住居跡P-1全景(南より)
	3	4区全景(南より)	2	6-22号住居跡掘方セクション(南より)	
	4	5・15区全景(東より)平成20年度	3	6-22号住居跡掘方セクション(南より)	
	5	6・96区全景(上空より)平成19年度	4	6-23号住居跡全景(南より)	
	6	6区全景(上空より)平成17年度	5	6-24号住居跡全景(北より)	
	7	7区全景(北より)平成17年度	Pl. 7	1	6-24号住居跡遺物出土状態(南より)
Pl. 2	1	6・7・8区全景(西上空より)平成17年度	2	6-24号住居跡遺物出土状態(南より)	
	2	6・96区全景(上空より)平成19年度	3	6-24号住居跡柱穴遺物出土状態(南より)	
Pl. 3	1	4-22号住居跡遺物出土状態(南より)	4	6-24号住居跡P-3全景(南より)	
	2	6-13号住居跡遺物出土状態(南より)	5	7-1号住居跡全景(南より)	
	3	6-13号住居跡全景(南より)	6	7-1号住居跡1号P-1掘方全景(南より)	
	4	6-18号住居跡遺物出土状態(南より)	7	7-1号住居跡2号P-2セクション(東より)	
	5	6-18号住居跡全景(南より)	8	6-1号掘立柱建物跡全景(南より)	
	6	6-18号住居跡P-1掘方全景(南より)	Pl. 8	1	6-1号掘立柱建物跡P-2セクション(東より)
	7	6-18号住居跡掘方全景(南より)	2	6-1号掘立柱建物跡P-3セクション(南より)	
	8	6-19号住居跡遺物出土状態(東より)	3	6-1号掘立柱建物跡P-4セクション(南より)	
Pl. 4	1	6-19号住居跡全景(北より)	4	6-1号掘立柱建物跡P-5セクション(東より)	
	2	6-20号住居跡遺物出土状態(南より)	5	6-1号掘立柱建物跡P-5全景(南より)	
	3	6-20号住居跡遺物出土状態(南より)	6	6-1号掘立柱建物跡P-6セクション(東より)	
	4	6-20号住居跡全景(南より)	7	3-1号埋裏換出状況(南より)	
	5	6-20号住居跡P-6輸出状態(西より)	8	3-1号埋裏内掘出状況(東より)	
	6	6-20号住居跡P-6輸出状態(南より)	Pl. 9	1	3-14号土坑セクション(南より)
	7	6-21号住居跡遺物出土状態(南より)	2	3-14号土坑全景(南より)	
	8	6-21号住居跡全景(南より)	3	3-15号土坑全景(南より)	
Pl. 5	1	6-21号住居跡P-6全景(南より)	4	3-16号土坑全景(南東より)	
	2	6-22号住居跡遺物出土状態(南より)	5	3-17号土坑全景(南東より)	
	3	6-22号住居跡遺物出土状態(南より)	6	4区全景(西より)	
	4	6-22号住居跡セクション下層(東より)	7	4-117号土坑遺物出土状態(西より)	

PL.10	8	4-118号土坑遺物出土状態(西より)	3	7-38号土坑セクション(北より)
	1	4-119号土坑全景(南より)	4	7-38号土坑全景(南より)
	2	4-120号土坑セクション(西より)	5	7-39号土坑セクション(西より)
	3	4-120号土坑全景(南西より)	6	7-39号土坑全景(南より)
	4	4-121・122号土坑全景(南より)	7	7-40号土坑セクション(南より)
PL.11	5	4-123号土坑全景(東より)	8	7-40号土坑全景(東より)
	6	4-124号土坑セクション(南より)	PL.20	1 7-41号土坑セクション(南より)
	7	4-124号土坑全景(西より)	2	7-41号土坑全景(東より)
	8	4-125号土坑全景(東より)	3	7-42号土坑セクション(南より)
	1	6-215号土坑セクション(東より)	4	7-42号土坑全景(北西より)
	2	6-215号土坑全景(南より)	5	7-43号土坑セクション(南より)
	3	6-216号土坑全景(南より)	6	7-43号土坑全景(南より)
	4	6-218号土坑遺物出土状態(南より)	7	7-44号土坑セクション(南より)
	5	6-218号土坑全景(南より)	8	7-44号土坑全景(南より)
	6	6-219号土坑全景(南より)	PL.21	1 7-45号土坑セクション(南より)
PL.12	7	6-220号土坑全景(南より)	2	7-45号土坑全景(南より)
	8	6-221号土坑全景(南より)	3	7-46号土坑セクション(南より)
	1	6-222号土坑全景(南より)	4	7-46号土坑全景(南より)
	2	6-223号土坑全景(南より)	5	7-47号土坑セクション(南より)
	3	6-227号土坑全景(南より)	6	7-47号土坑全景(南より)
	4	6-229号土坑全景(南より)	7	7-48号土坑セクション(南より)
	5	6-230号土坑全景(南より)	8	7-48号土坑全景(南より)
	6	6-231号土坑セクション(東より)	PL.22	1 7-49号土坑セクション(西より)
	7	6-231号土坑全景(東より)	2	7-49号土坑全景(東より)
	8	6-232号土坑遺物出土状態(南より)	3	7-50号土坑セクション(南より)
PL.13	1	6-232号土坑全景(南より)	4	7-50号土坑全景(東より)
	2	6-233号土坑遺物出土状態(南より)	5	7-51号土坑全景(南より)
	3	6-233号土坑全景(南より)	6	7-52号土坑セクション(東より)
	4	6-234号土坑遺物出土状態(南より)	7	7-52号土坑全景(南より)
	5	6-234号土坑全景(南より)	8	7-53号土坑セクション(東より)
PL.14	6	6-236号土坑全景(南より)	PL.23	1 7-53号土坑全景(南より)
	7	6-237号土坑全景(南より)	2	7-54・55号土坑全景(東より)
	8	6-238号土坑全景(南より)	3	7-56号土坑セクション(東より)
	1	6-240号土坑全景(北より)	4	7-56号土坑全景(南西より)
	2	6-241号土坑全景(南より)	5	7-57号土坑セクション(東より)
	3	6-242号土坑全景(南より)	6	7-57号土坑全景(南より)
	4	6-243号土坑全景(南より)	7	7-58号土坑セクション(東より)
	5	6-244号土坑セクション(東より)	8	7-58号土坑全景(南より)
	6	6-249号土坑全景(南より)	PL.24	1 7-59号土坑セクション(東より)
	7	6-250号土坑全景(南より)	2	7-59号土坑全景(南より)
PL.15	8	6-251号土坑全景(南より)	3	7-60号土坑セクション(東より)
	1	6-252号土坑全景(南より)	4	7-60号土坑全景(南より)
	2	6-253号土坑セクション(東より)	5	7-61号土坑セクション(東より)
	3	6-254号土坑全景(南より)	6	7-61号土坑全景(南より)
	4	6-255号土坑セクション(南より)	7	7-62号土坑セクション(東より)
	5	6-255号土坑全景(北より)	8	7-62号土坑全景(南より)
	6	6-256号土坑全景(東より)	PL.25	1 7-64号土坑セクション(南より)
	7	6-257号土坑セクション(東より)	2	7-64号土坑全景(東より)
	8	6-257号土坑全景(北より)	3	7-65号土坑セクション(南より)
	1	6-258号土坑全景(東より)	4	7-65号土坑全景(東より)
PL.16	2	6-260号土坑全景(北より)	5	7-66号土坑セクション(北西より)
	3	6-261号土坑セクション(南より)	6	7-66号土坑全景(東より)
	4	6-261号土坑全景(北より)	7	7-67号土坑セクション(南東より)
	5	6-262号土坑全景(北より)	8	7-67号土坑全景(南より)
	6	6-263号土坑全景(東より)	PL.26	1 7-68号土坑セクション(北西より)
	7	6-264号土坑セクション(南より)	2	7-68号土坑全景(北より)
	8	6-264号土坑全景(北より)	3	7-69号土坑セクション(北より)
	1	6-265号土坑セクション(東より)	4	7-69号土坑全景(北より)
	2	6-265号土坑全景(北より)	5	7-70号土坑セクション(南東より)
	3	6-266号土坑セクション(南より)	6	7-70号土坑全景(南より)
PL.17	4	6-266号土坑全景(東より)	7	7-71号土坑セクション(東より)
	5	6-267号土坑全景(北より)	8	7-71号土坑全景(南より)
	6	6-268号土坑全景(北より)	PL.27	1 7-72号土坑セクション(東より)
	7	6-269号土坑全景(北より)	2	7-72号土坑全景(南より)
	8	6-270号土坑全景(西より)	3	7-73号土坑セクション(南より)
	1	7・8区土坑群全景(北より)	4	7-73号土坑全景(南より)
	2	7区東側土坑群(南より)	5	7-74号土坑セクション(東より)
	1	7-37号土坑セクション(北西より)	6	7-74号土坑全景(南より)
	2	7-37号土坑全景(南より)	7	7-75号土坑セクション(南西より)

	8	7-75号土坑全量(南東より)	PL.37	1	8-8号土坑全量(南東より)
PL.28	1	7-76号土坑セクション(南より)	2	8-9号土坑全量(南より)	
2	7-76号土坑全量(南より)	3	8-10号土坑セクション(東より)		
3	7-77号土坑セクション(東より)	4	8-10号土坑全量(東より)		
4	7-78号土坑セクション(東より)	5	8-11号土坑セクション(南より)		
5	7-78号土坑全量(南より)	6	8-11号土坑全量(東より)		
6	7-79号土坑セクション(南東より)	7	8-12号土坑セクション(南より)		
7	7-79号土坑全量(南より)	8	8-12号土坑全量(西より)		
8	7-80号土坑セクション(南より)	PL.38	1	8-13号土坑セクション(南より)	
PL.29	1	7-80号土坑全量(南より)	2	8-13号土坑全量(南より)	
2	7-81号土坑セクション(東より)	3	8-14号土坑セクション(南より)		
3	7-81号土坑全量(南より)	4	8-14号土坑全量(西より)		
4	7-82号土坑セクション(東より)	5	8-15号土坑セクション(北より)		
5	7-82号土坑全量(南より)	6	8-15号土坑全量(東より)		
6	7-83号土坑セクション(東より)	7	13-1号土坑セクション(南西より)		
7	7-83号土坑全量(南より)	8	13-1号土坑全量(南より)		
8	7-84号土坑セクション(南より)	PL.39	1	15-3号土坑全量(南より)	
PL.30	1	7-84号土坑全量(南より)	2	15-24号土坑セクション(南西より)	
2	7-85号土坑セクション(南より)	3	15-24号土坑全量(南より)		
3	7-85号土坑全量(南より)	4	15-39号土坑セクション(南より)		
4	7-86号土坑セクション(南より)	5	15-39号土坑全量(南より)		
5	7-86号土坑全量(南より)	6	15-40号土坑セクション(南より)		
6	7-87号土坑セクション(南より)	7	15-55号土坑全量(南より)		
7	7-87号土坑全量(南より)	8	15-60号土坑全量(南より)		
8	7-88号土坑セクション(南より)	PL.40	1	15-72号土坑全量(南より)	
PL.31	1	7-88号土坑全量(南より)	2	15-73号土坑全量(南より)	
2	7-89号土坑セクション(西より)	3	15-80号土坑全量(南より)		
3	7-89号土坑全量(南より)	4	15-81号土坑全量(南より)		
4	7-90号土坑セクション(東より)	5	15-82号土坑全量(南より)		
5	7-90号土坑全量(南東より)	6	15-83号土坑セクション(南より)		
6	7-91号土坑全量(東より)	7	15-85号土坑全量(南より)		
7	7-92号土坑全量(南より)	8	15-86号土坑全量(南より)		
8	7-93号土坑全量(南より)	PL.41	1	15-87号土坑全量(南より)	
PL.32	1	7-94号土坑セクション(南より)	2	15-89号土坑全量(南より)	
2	7-94号土坑全量(南より)	3	15-90号土坑全量(南より)		
3	7-95号土坑セクション(南より)	4	15-99号土坑全量(南より)		
4	7-95号土坑全量(南より)	5	15-105号土坑全量(南より)		
5	7-96号土坑セクション(南より)	6	15-106号土坑全量(南より)		
6	7-96号土坑全量(南より)	7	15-107号土坑全量(南より)		
7	7-97号土坑セクション(南より)	8	15-108号土坑全量(南より)		
8	7-97号土坑全量(南より)	PL.42	1	17-36号土坑セクション(東より)	
PL.33	1	7-98号土坑セクション(南より)	2	17-36号土坑全量(南より)	
2	7-98号土坑全量(南より)	3	17-37号土坑セクション(東より)		
3	7-99号土坑セクション(南より)	4	17-37号土坑全量(南より)		
4	7-99号土坑全量(南より)	5	96-12号土坑セクション(南より)		
5	7-100号土坑セクション(東より)	6	96-12号土坑全量(南より)		
6	7-100号土坑全量(東より)	7	96-14号土坑セクション(南より)		
7	7-102号土坑セクション(南より)	8	96-14号土坑全量(東より)		
8	7-102号土坑全量(南より)	PL.43	1	96-15号土坑セクション(南より)	
PL.34	1	7-103号土坑セクション(南より)	2	96-15号土坑全量(南より)	
2	7-103号土坑全量(南より)	3	96-16号土坑セクション(南より)		
3	7-104号土坑セクション(南より)	4	96-16号土坑全量(南より)		
4	7-104号土坑全量(南より)	5	96-17号土坑セクション(南より)		
5	7-105号土坑セクション(東より)	6	96-17号土坑全量(東より)		
6	7-106号土坑セクション(南より)	7	96-18号土坑セクション(南より)		
7	7-106号土坑全量(東より)	8	96-18号土坑全量(東より)		
8	7-107号土坑セクション(南より)	PL.44	1	96-19号土坑セクション(南より)	
PL.35	1	7-107号土坑全量(南より)	2	96-19号土坑全量(北より)	
2	7-108号土坑全量(南より)	3	96-20号土坑セクション(南東より)		
3	7-110号土坑セクション(南東より)	4	96-20号土坑全量(北より)		
4	7-110号土坑全量(南東より)	5	96-21号土坑全量(北より)		
5	7-111号土坑セクション(西より)	6	96-22号土坑セクション(南より)		
6	7-111号土坑全量(東より)	7	96-22号土坑全量(北より)		
7	7-111号土坑工具痕(南より)	PL.45	1	96-23号土坑全量(東より)	
8	7-112号土坑全量(南より)	2	96-24号土坑セクション(南より)		
PL.36	1	8区トレンチ全量(北より)	3	96-24号土坑全量(北より)	
2	8-7号土坑セクション(東より)	4	96-25号土坑全量(北より)		
3	8-7号土坑全量(南より)	5	96-26号土坑全量(南西より)		
4	8-8号土坑セクション(東より)	6	96-27号土坑セクション(南より)		

	7	96-27号土坑全景(西より)	PL.52	1	7-3号離立柱建物跡全景(南より)
	8	96-28号土坑セクション(南より)	2	7-4号離立柱建物跡全景(南より)	
PL.46	1	96-28号土坑全景(北より)	3	7-5号離立柱建物跡全景(南より)	
	2	96-29号土坑全景(北より)	4	7-6号離立柱建物跡全景(南より)	
	3	96-30・47号土坑セクション(西より)	5	7-7号離立柱建物跡全景(南より)	
	4	96-30号土坑全景(南より)	6	7-8号離立柱建物跡全景(南より)	
	5	96-31号土坑セクション(北より)	7	7-9号離立柱建物跡遺物出土状態(南より)	
	6	96-31号土坑全景(西より)	8	7-9号離立柱建物跡全景(南より)	
	7	96-32号土坑セクション(東より)	PL.53	1	7-2号離立柱建物跡P-4セクション(東より)
	8	96-32号土坑全景(北より)	2	7-2号離立柱建物跡P-10セクション(東より)	
PL.47	1	96-33号土坑全景(北より)	3	7-5号離立柱建物跡P-3セクション(東より)	
	2	96-34号土坑セクション(南より)	4	3-1号石垣全景(北西より)	
	3	96-34号土坑全景(北より)	5	7-1号石列(西より)	
	4	96-35号土坑全景(北より)	6	7-1号石垣(南より)	
	5	96-36号土坑セクション(南より)	7	7-1号石垣(南より)	
	6	96-36号土坑全景(南より)	8	5-1号ヤックラ(北より)	
	7	96-37号土坑セクション(南より)	PL.54	1	6-1号ヤックラ(西より)
	8	96-37号土坑全景(北より)	2	6-2号ヤックラ(西より)	
PL.48	1	96-38号土坑セクション(北より)	3	96-1号ヤックラ(東より)	
	2	96-38号土坑全景(南より)	4	7-1号自然流路(南より)	
	3	96-39号土坑セクション(北より)	5	6・96区谷地部調査状況(南西より)	
	4	96-39号土坑全景(北より)	6	6・96区旧石器試掘状況(南より)	
	5	96-41号土坑セクション(南東より)	7	6区基本土層	
	6	96-40・41号土坑全景(北より)	8	7区基本土層(As-YPK以下)	
	7	96-42号土坑セクション(南より)	PL.55	4-22、6-13・18・19号住居跡出土遺物	
	8	96-43号土坑全景(北より)	PL.56	6-20・21・22号住居跡出土遺物	
PL.49	1	96-44号土坑全景(西より)	PL.57	6-24号住居跡出土遺物	
	2	96-45号土坑全景(南より)	PL.58	6-24号住居跡出土遺物	
	3	96-46号土坑セクション(東より)	PL.59	6-24号住居跡出土遺物、6-24号住居跡遺物出土状態、3-1号埋藏出土遺物	
	4	96-46号土坑全景(北より)	PL.60	6-218～270、8-13、15-38・39・44号土坑出土遺物	
	5	96-48号土坑全景(北より)	PL.61	15-72～86、96-12～50号土坑出土遺物	
	6	96-49号土坑セクション(南より)	PL.62	3・4・5・6区道構外出土土器	
	7	96-49号土坑全景(北より)	PL.63	6区道構外出土土器	
	8	96-50号土坑セクション(南より)	PL.64	6区道構外出土土器	
PL.50	1	4-106号ピットセクション(南より)	PL.65	6・7区道構外出土土器	
	2	4-107号ピットセクション(南より)	PL.66	8・13・15・96区道構外出土土器	
	3	4-109号ピットセクション(南より)	PL.67	96区道構外出土土器	
	4	4-110号ピットセクション(南より)	PL.68	3・4・5・6・7・8・15区道構外出土土器	
	5	4-111号ピットセクション(南より)	PL.69	96区道構外出土土器、7-1号住居、4-7号竪穴、3-14、4-117～124、6-215～255号土坑出土遺物	
	6	4-113号ピットセクション(南より)	PL.70	6-255～259、7-39～49号土坑出土遺物	
	7	4-116号ピットセクション(南より)	PL.71	7-52～107号土坑出土遺物	
	8	4-118号ピットセクション(南より)	PL.72	8-10～15、96-17～43号土坑、4-119・130・134号ピット、7-1号石列、7-1号石垣、5-1、6-1・2、96-1号ヤックラ出土遺物	
	9	4-119号ピットセクション(南より)	PL.73	96-1号ヤックラ出土遺物、6・7区須恵器、3・4・6・7・8・13・15・96区陶磁器	
	10	4-121号ピットセクション(南より)	PL.74	3・6・7・8区鉄製品、「長野原一本松道跡(2)」補遺編出土遺物	
	11	4-127号ピットセクション(東より)	PL.75	「長野原一本松道跡(2)」補遺編出土遺物	
	12	4-131号ピットセクション(西より)	PL.76	「長野原一本松道跡(2)(3)(4)」補遺編出土遺物	
	13	4-132号ピットセクション(北西より)	PL.77	「長野原一本松道跡(4)」補遺編出土遺物	
	14	4-136号ピットセクション(南より)	PL.78	「長野原一本松道跡(4)(5)(6)」補遺編出土遺物	
	15	4-137号ピットセクション(南より)			
PL.51	1	4-7号竪穴道構遺物出土状態(北より)			
	2	4-7号竪穴道構遺物全景(北より)			
	3	7区離立柱建物跡群全景(上空より)			
	4	7-1号離立柱建物跡全景(東より)			
	5	7-2号離立柱建物跡全景(南より)			



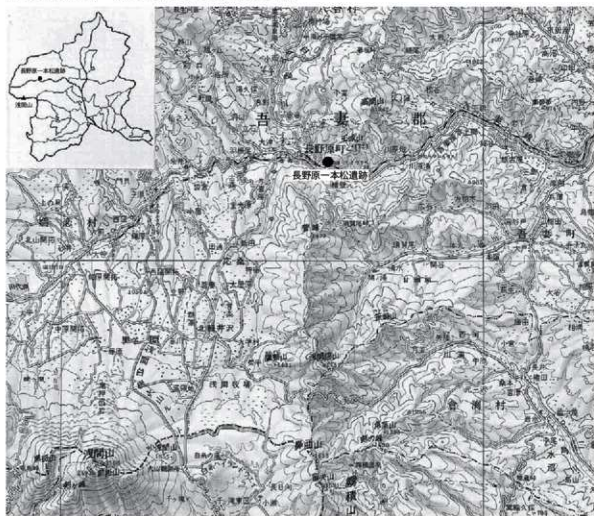
## 第1章 長野原一本松遺跡の発掘調査

### 第1節 発掘調査に至る経緯

ハッ場ダムの建設計画は昭和27年に発表された。それ以降、国、県、地元との三者間で多くの協議が行われ、平成4年に群馬県と地元長野原町との間で「ハッ場ダム建設事業に係わる基本協定」及び「用地補償調査に関する協定」が締結され、ダム建設事業が本格的に始動した。

これらの基本協定を受けて、国土交通省(旧建設省)と群馬県教育委員会及び長野原町教育委員会の三者で協議を行い、「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財の実施に関する協定書」を締結し、平成6年4月には関東建設局と群馬県教育委員会が発掘調査の受託契約が締結され、さらに群馬県教育委員会と群馬県埋蔵文化財調査事業団との間において発掘調査の受託契約が締結されて、発掘調査事業が開始されるに至った。

長野原一本松遺跡の発掘調査は平成6年より開始され、平成20年まで継続して調査を行った。一方、整理事業は平成10年度～平成25年度にかけて実施され、既に平成14年度(2002)～平成24年度(2013)にかけて長野原一本松遺跡(1)～(6)の発掘調査報告書が刊行されてきた。本報告書で報告するのは平成17・19・20年度に調査した成果で、一連の整理事業の最終年度である。



第1図 長野原一本松遺跡位置図

## 第2節 発掘調査の方法

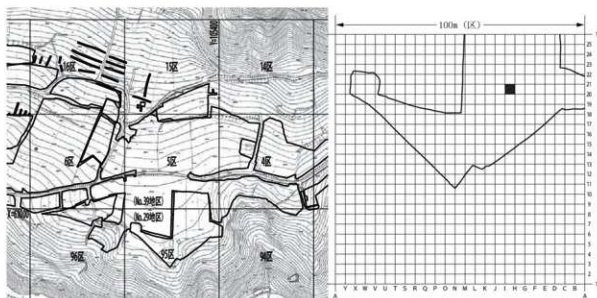
長野原一本松遺跡の発掘調査にあたっては、調査対象地区の全域を覆う形でグリッド設定を行った。測量方眼の設定にあたっては日本平面直角座標第Ⅸ系を使用し、1km方眼の大グリッド「地区」を設定した。さらにこの中を、100m方眼の中グリッド「区」に分割した。この「区」を、調査区を表す名称として使用している。

また、中グリッドである「区」の中をさらに4m方眼で細分し、これを最小グリッドとして使用している。この最小グリッドの呼称は中グリッドである「区」の南東隅を起点として、北方向に1・2・3……のように25までの数字を付し、西方向へはA・B・C……のようにYまでのアルファベットを付した。このようにして設定した最小グリッドの呼称は中グリッド「区」、小グリッドの南東交点(例えばA-1)を付け○区A-1と呼ぶこととし、大グリッドの地区名は略した。

なお、住居、土坑などの出土遺構の番号については、100m方眼の中グリッドである「区」毎に1から番号を付して、これは該当調査年の前年度からの続き番号を使用している。このため、年度を越えて調査を行った同一遺構の名称については、先行調査時の番号を用いている。本書中の遺構名は、例えば4区22号住居跡の場合、4-22号住居跡と記載した。

発掘調査の手順は、事前に調査対象区域を委託者側立ち会いの下で、調査範囲及び土物耕作物などの確認を行った。次に調査ではまず重機によって表土の除去を行い、示標テフラなどを鍵層として遺構確認面を確定した。場所によって2面～3面以上の調査が必要な場合があり、特に谷地部分については黒色土の堆積状況により表土除去の際には注意を払った。

遺構確認作業後に遺構覆土の掘削を行い、基本的に新しい時代の遺構から掘り下げを行った。また、黒色土の堆積が厚いために遺構の検出が困難な場所については、グリッド方眼を設定して掘り下げを行った。遺物については、遺構に伴うものは極力出土位置の原位置を保って掘削を行い、遺構の確認ができない部分からの出土遺物については、先の4m方眼のグリッド毎に取り上げを行った。



(例) 29地区 95区 H-20グリッド

第2図 グリッド設定図

### 第3節 基本層序

長野原一本松遺跡が立地する台地は、吾妻川左岸の上位河岸段丘面に区分される。この段丘面は、遺跡の南西約20kmに位置する浅間火山起源の「応桑岩屑なだれ(応桑泥流)」堆積物を、吾妻川が浸食して形成されたものと考えられている。この堆積物が本遺跡の基盤層を成している。この「応桑岩屑なだれ」堆積物の下位にはその発生直前に降下したとされる浅間一板鼻褐色軽石群(As-BPG) 19,000～24,000年(yBP)が、さらにその下位には始良Tn火山灰(AT) 25,000年(yBP)が想定される。また、「応桑岩屑なだれ」の上層に堆積するローム中には浅間火山起源の浅間一白糸軽石(As-Sr) 18,000年(yBP)及び、浅間一板鼻黄色軽石(As-YP) 13,000～14,000年(yBP)の一連の降下テフラとされている浅間一草津黄色軽石(As-YPk)の各軽石層が確認されている。

本遺跡内での掘削深度内において、肉眼で観察できるテフラはAs-YPkである。基本層序では、Ⅷ-1からⅧ-3層にあたる。このAs-YPk層中のⅧ-2層は、ほぼ純粋の軽石層で発泡も良く(径10～50mm)、層厚も1～2mの堆積が確認されている。

Ⅵ層(ローム層)の上位には黒褐色から黒色の土が厚く堆積し、長野原一本松遺跡が立地する台地上においては基本的に4～5層に分層される。Ⅰ層は表土層で、層厚20～30cmの現耕作土である。山林やその他の場所においては、平均30cmほどの層厚が見られる。Ⅱ層は部分的に、天明三年(1783)に降下した浅間A軽石(As-A)の混入が見られる。下位段丘上においては、この天明三年の噴火に伴って発生した泥流(いわゆる天明泥流)で覆われた畑跡や建物などが発見されている。本層はAs-Aの軽石の混入が見られるⅡ-1とⅡ-2に分けられ、Ⅱ-2層上位には灰褐色を呈す1,128年に降下した浅間一柏川テフラ(As-Kk)の存在も確認されている。

浅間一柏川テフラは細流の火山灰で、本遺跡において12区のトレンチ内において厚さ数cmの堆積が見られた。また、天仁元年(1,108)に降下した浅間B軽石(As-B)及び、3世紀後半に降下した浅間C軽石(As-C)の存在も想定されているが、いずれも降下軸が本地域より南に傾いていることから、明確には確認されるに至っていない。また、縄文時代中期に降下した浅間D軽石(As-D)についても、前者と同様に明確には確認されていない。

Ⅲ層は小軽石が僅かに混入する黒色土で、やや軟質である。この層において確認される遺構として陥し穴がある。上面の平面形は楕円形で、下面の平面形は長方形を呈すものが多く、上部は漏斗状に大きく開いている。

Ⅱ層及びⅢ層は比較的平坦な台地上ではほぼ均一な層厚を示すが、谷地部、一部傾斜面部においては急激に厚さを増している。「長野原一本松遺跡(6)」の調査においての95区の谷地部分がこれに相当する。

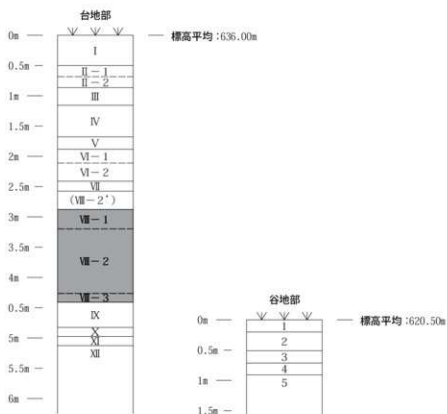
これとは対照的に一部の急斜面部においては、表土層下にⅡ・Ⅲ層をほとんど認めない状況がある。地形的に雨水等による影響を受けた、自然作用が考えられる。

Ⅳ層は白色及び黄色軽石を含む黒色土で、やや大粒の軽石も混入する。主に縄文時代の遺構確認面となるが、層の厚い部分においては遺物の出土が多いものの、遺構の検出については困難な状況がある。

Ⅴ層はいわゆるローム漸移層である。若干の軽石を含み、比較的締まった安定した層と言える。Ⅳ層が厚い場所においては、縄文時代の遺構確認面となる。

以下、Ⅵ層はローム層で、その硬さから2層に大別でき、Ⅵ-1層は比較的柔らかいローム層で、Ⅵ-2層は比較的硬いローム層である。この層は、長野原一本松遺跡における遺構の構築層である。

## 第1章 長野原一本松遺跡の発掘調査



### 基本層序

#### 台地部

- I 層: 現表土。浅間A軽石(As-A)を混入する耕作土。  
 II-1層: 暗褐色土。色調やや茶色がかかる。As-Aが多量に混入し、1層に類似するが締まり強い。  
 II-2層: 黒褐色土。色調やや灰色がかかる。シルト質土をブロック状に混入するが、他の混入物を殆ど含まない。土壌粒子が細かい、サラサラする。  
 III 層: 黒色土。白色や黄色などの小軽石粒を微量混入する他は、全体的に混入物を殆ど含まない。締まりなく軟質。  
 IV 層: 黒褐色土。白色や黄色などを呈する粒径約1~5mm前後の小軽石粒やローム粒を多量混入する。層の上・下位で混入物の量に差が看取される部分がある。  
 V 層: 暗褐色土。ローム漸移層。軽石粒を微~少量混入する(一部にIV層との漸移的な層も含む)。  
 VI 層: 黄褐色ローム。  
 (VI-1層): 比較的柔らかいローム層。  
 (VI-2層): 比較的硬いローム層。  
 VII 層: 黄褐色砂質土。粒径約1~3mm前後の小軽石粒による砂質土。硬化しており、ブロック状の堆積部分も看取される(VII-2層As-YPK、軽石の二次堆積層。台地部の特定範囲で確認される)。  
 VIII 層: 浅間草津黄色軽石(As-YPK)。  
 (VIII-1層): 硬化した細流火山灰。赤褐色・黄褐色・灰白色などの火山灰に分けられる。  
 (VIII-2層): 浅間草津黄色軽石層。風化などにより、色調が白色がかかる部分もある。粒径は概ね10~50mm前後の幅が看取される。  
 (VIII-3層): 細流火山灰。橙色・赤褐色・灰色などの火山灰に分けられる。  
 IX 層: 黄褐色ローム。X層に類似するが、軽石の量が少ない。  
 X 層: 黄褐色ローム。ロームを主体に、軽石粒を多量混入する。  
 XI 層: 黄褐色ローム。色調がやや白色がかかる。As-BPGと思われる軽石と小角礫を少量混入する。  
 XII 層: 「応桑岩納なだれ(応桑泥流)堆積物。赤色・青色スコリアが多量に混入する。

#### 谷地部

- 1層: 暗褐色土。色調がやや茶色がかかる。現表土。  
 2層: 黒色土。礫が少~多量に混入する。土質は、台地部のIII層に類似する。  
 3層: 黒褐色土。植物質の遺体が多量に混入する泥炭質土で、少量の湧水がある。  
 4層: 礫層。小角礫を主体とする淡褐色土との混土層。淡褐色土は変質したロームで、台地部のVI層相当と思われる。  
 5層: 砂礫層。砂礫を主体とする黒褐色土との混土層で湧水がある。

第3図 基本層序

## 第4節 発掘調査の経過

本報告書で報告する発掘調査は、平成17・19・20年度の3か年にわたって複数の地区において実施された。以下にその概略を記す。

## 平成17年度

平成17年4月～平成17年11月にかけて発掘調査を実施した。4月には調査区域内の立木の伐採、表土の除去等を実施し、5月～7月上旬にかけては主として4・6・7区の竪穴住居、掘立柱建物の調査を実施した。これらと並行して3～17区の主として土坑、溝、ヤックラなどの調査を実施し、この調査は10月まで継続的に実施した。

## 平成19年度

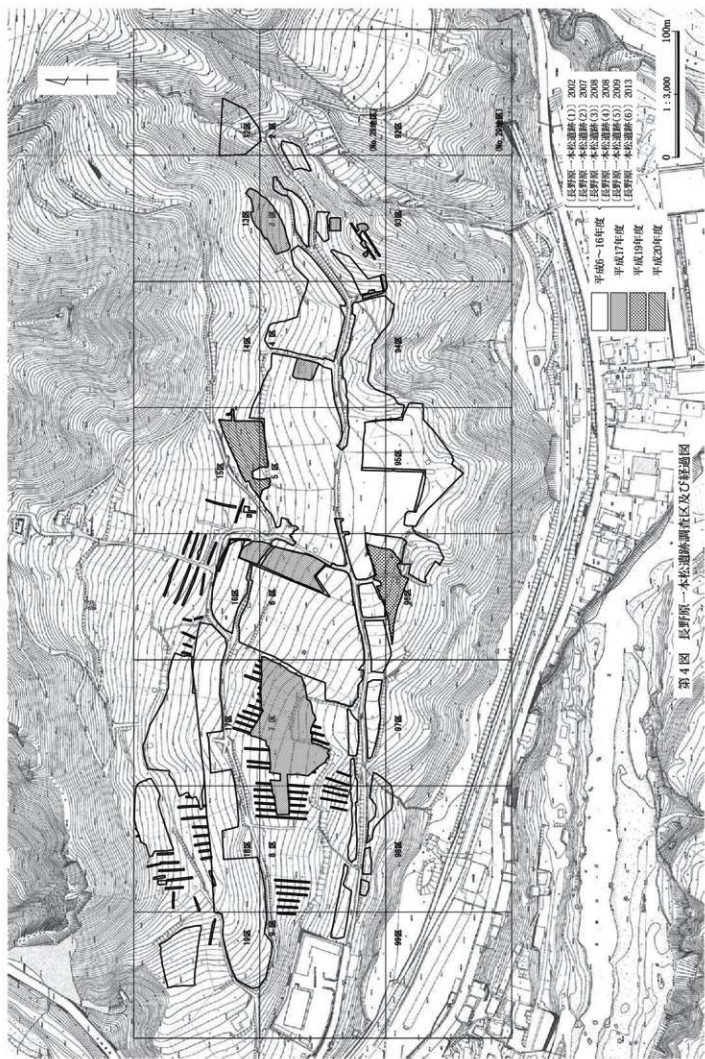
平成19年4月～平成19年5月にかけて発掘調査を実施した。4月には調査区域内の立木の伐採、表土の除去等を実施し、5月に6・96区の竪穴住居、土坑等の調査を実施した。

## 平成20年度

平成20年6月の1か月に発掘調査を実施した。主として5・15区の土坑、溝、ヤックラ、谷地部などの調査を行った。

表1 調査工程表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
4-22住										
6-13住										
6-18住										
6-19住										
6-20住										
6-21住										
6-22住										
6-23住										
7-1住										
6-1掘立										
7-1掘立										
7-2掘立										
7-3掘立										
7-4掘立										
7-5掘立										
7-6掘立										
7-7掘立										
7-8掘立										
7-9掘立										
3-1埋溝										
4-7竪穴										
3区土坑										
4区土坑										
6区土坑										
7区土坑										
8区土坑										
13区土坑										
17区土坑										
溝										
ヤックラ										
その他										旧石器試掘
平成17年度										
6-24住										東側工事により掘削
6区土坑										
96区土坑										
溝										
その他										表土掘削・旧石器試掘
平成19年度										
5区土坑										
15区土坑										
溝										
ヤックラ										
その他										谷地部
平成20年度										



## 第2章 地理的及び歴史的環境

### 第1節 地理的環境

長野原一本松遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町に所在する。長野原町は関東地方北西部の奥部に位置し、吾妻郡域の南西部に広がる町である。町の北部を吾妻川が東流し、この川の左岸を国道145号が通過している。この国道は渋川市で新潟県に通じる国道17号と分岐した国道353号が中之条町で本道と合流し、吾妻川に沿って長野原町に入り大津で草津と嬭恋方面に別れる。古くは草津道として川の右岸側を通過していた。

遺跡の周辺には、南側に吾妻川を隔てて須賀尾峠、景勝の丸岩があり、北西約15kmに草津白根山、南西約20kmに浅間山が位置している。草津白根山と浅間山は現在も活発に活動しており、日本でも有数の活火山として知られている。また、町の北部を流れる吾妻川は、長野県境の鳥居峠付近に源を発して東に流れ、町域のはほぼ中央部で川幅をやや広くする。その東端部では第三紀層を深く刻んで吾妻渓谷を形成し、さらに東流して渋川市東町付近で利根川に合流する長さ76kmの一級河川である。この川には、両側に迫る山地から流れ下る多くの支流が存在する。

長野原一本松遺跡は吾妻川左岸の河岸段丘上に立地し、左岸側にあつては比較的平坦で開けた場所である。遺跡周辺の地形は北側の山地から傾斜する台地が南側に緩やかに傾斜する舌状地形を成し、東西及び南側は谷地形となる。下位の段丘面には現在JR吾妻線の長野原草津口駅、長野原町立東中学校が立地して、比較的平坦な舌状地形となっている。吾妻川はこの台地の南側を大きく迂回する形で東流する。

遺跡地内の地形をさらに詳細に見ると、集落の中心部分が位置する場所の標高は635m前後である、この集落のある舌状台地は南への張り出しに比して横幅が長く、東側にもやや狭いながら同様の地形が見られる。また、東側にはこの台地の東縁を区切る「とちのき沢」が谷地形を形成して吾妻川に流れ込んでいる。この沢を隔てた東側が幸神遺跡となる。

この付近は遺跡地の南側は急崖であるのに対して、西側は平坦部分こそ幅狭となつてはいるが、比較的緩やかな傾斜が続いており、現在でも遺跡地に入る道路はこの場所の南側に沿って通過している。遺跡の西側約500mでは、六合村方面から流れ下る支流としては大きな河川の白砂川が吾妻川に合流する。

### 第2節 歴史的環境

長野原町では、昭和29年に実施された勘場木遺跡の発掘調査がその先駆けである。同遺跡では縄文時代中期後半の竪穴住居1軒が調査され、これは「勘場木石器時代住居跡」として県指定史跡となっている。その後昭和30年代後半から40年代にかけて遺跡の分布調査が行われ、昭和53年には川原畑地区に所在する石垣岩陰遺跡が鉄道工事に伴って発掘調査された。昭和62年からは、ハツ場ダム建設に関連する埋蔵文化財詳細分布調査が県及び町教育委員会によって行われ、183ヶ所の遺跡(包蔵地)が報告されている。昭和60年代になると、町教育委員会によって榊Ⅱ遺跡をはじめとして多く発掘調査が行われ、平成6年からは当群馬県埋蔵文化財調査事業団によるハツ場ダム建設に伴う発掘調査が開始された。本遺跡を初めとして対岸の横壁中村遺跡、久々戸遺跡、林検木遺跡、中棚遺跡など、縄文時代から近世にかけての多くの遺跡が調査されて現在に至っている。

以下、長野原一本松遺跡周辺の主な遺跡を概観する。なお、地図上の細線は遺跡の範囲を、網点の範囲は本報告書掲載の調査区を示している。



### 旧石器時代

旧石器時代の遺物は、現在のところ長野原町においては出土していない。しかし、表探資料で横壁中村遺跡の石槍や川原畑石畑岩陰遺跡、林榎木Ⅱ遺跡の草創期の土器群などが発見されており、その存在の可能性はあるものと考えられる。

### 縄文時代

本遺跡を含めた吾妻川兩岸の上下段丘面上、さらには吾妻川に注ぐ沢筋に面した場所に多くの遺跡が存在する。先述のように、草創期、早期の遺物に関しては近年の調査で発見が相次いでいる。林榎木Ⅱ遺跡、立馬Ⅱ遺跡で、草創期後半の縹系土器や早期の押型土器などが出土している。また岩陰遺跡も知られ、石畑岩陰遺跡などで多縄文系の土器が出土している。これらの遺跡では早期末から前期初頭の繊維土器なども見られる。吾妻川右岸側の遺跡では、現在のところ草創期、早期の遺跡はほとんど見られない。

前期については早期末から続く遺跡として立馬Ⅰ遺跡、山平Ⅰ・Ⅱ遺跡、林中原Ⅱ遺跡において早期末の繊維土器、前期初頭から後半にかけての花積下層式、関山式、諸磯式土器などが出土している。

中期には遺跡の分布が拡大し、兩岸の比較的広い範囲に居住するようになる。初頭から前半にかけての遺跡は林榎木Ⅱ、立馬Ⅰ・Ⅱ遺跡で住居、土坑が検出されている。横壁中村遺跡においても僅かではあるが遺構の検出が見られる。中葉から後半になると遺跡数、遺構数は増加し、本遺跡と横壁中村遺跡は吾妻川を隔てて対峙する大集落となる。この時期の他の遺跡として左岸では上ノ平Ⅰ遺跡が、右岸では横壁中村遺跡の上流に接して位置する山根Ⅰ・Ⅲ遺跡があるが、その規模は前述した2遺跡に比較して小規模である。平成21年度に調査が行われた林中原Ⅱ遺跡では、中期後半から後期にかけての弧状列石や住居跡が数多く検出され、長野原一本松遺跡、横壁中村遺跡に肩を並べる程の集落であることが判明した。

後期に入ると前半までは長野原一本松遺跡、横壁中村遺跡では引き続き集落の継続が見られ、林中原Ⅱ・上原Ⅰ・Ⅳ遺跡で住居等が見られる。晩期については長野原一本松遺跡ではほとんど見られないが、横壁中村遺跡では多くの遺物が見られる。左岸では下原Ⅱ遺跡、立馬Ⅰ・Ⅱ遺跡で、右岸では久々戸遺跡で少量の土器が出土し、やや下った川原湯勝沼遺跡では晩期末から弥生前期の甕棺墓等が検出されている。

### 弥生時代以降

弥生時代の遺跡は少ないものの、前期の遺物は川原湯勝沼遺跡で見られ、中期は横壁中村遺跡、立馬Ⅱ遺跡で出土している。平成22年度調査の尾坂遺跡においても土坑等が検出されており、今後その数は増加するものと考えられる。長野原一本松遺跡においても若干の前期の土器片が出土している。

また、中期後半期の遺物は横壁中村遺跡、後期後半の遺物は下原Ⅱ遺跡において僅かながら出土が見られる。

古墳時代についてはこれまで明確な遺構が確認されていなかったが、下原遺跡、林中原遺跡で中期の住居が発見されて注目される。古墳に関しては現在のところ確認はされていない。

奈良・平安時代の遺跡は長野原一本松、榎木Ⅱ、花畑、立馬Ⅰ、三平Ⅰ、川原湯勝沼、横壁中村遺跡等で住居が検出されている。年代は9世紀から10世紀を中心としている。この時期の遺構の調査数は近年増加しており、沢尻の奥まった場所にもかかわらず集落が構成されている。

中世は沢尻原一本松遺跡、横壁中村遺跡、中棚Ⅱ遺跡で遺構・遺物が検出されている。周辺に見られる城郭跡としては西に白砂川を隔てて長野原城が、川を挟んだ南には柳沢城がそれぞれ位置している。

近世の遺跡は兩岸の下位段丘面において久々戸、尾坂、中棚、下原、川原湯勝沼遺跡等において天明三年の浅間山噴火に伴う泥流に埋没した建物や畑が検出され、林城では城郭の一部などが調査されている。

参考文献 長野原町教育委員会 1990『長野原町の遺跡』—町内遺跡詳細分佈調査報告書—





第5図 周辺の遺跡

表2 周辺の遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	主な時代	概要	備考	報告書等
1	長野原一本松遺跡	長野原町長野原	縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世	縄文時代中期～後期にかけての集落跡。大型の掘立柱建物、敷石住居など、平安時代の住居、中世の掘立柱建物や多くの土坑等。	事業団平成6～17・19・20年度調査。敷石住居など、平安時代の住居、中世の掘立柱建物や多くの土坑等。	9-15・19-32・35-38・41-49
2	幸神遺跡	長野原町長野原	縄文・平安・近世	縄文中期の住居・土坑。陥し穴。	事業団平成8-9・14-17年度、町教委平成21・23年度調査。	33
3	尾飯遺跡	長野原町長野原	縄文・弥生・近世	天明三年記流下の畑・建物跡。中世の掘立柱建物跡。縄文・平安時代の住居、土坑、弥生時代の土坑等。	事業団平成6・7・11・18～23年度調査。	20
4	御嶽山岩窟	長野原町林	縄文・弥生	岩窟遺跡。		1
5	穂っ沢岩窟	長野原町林	縄文?	岩窟遺跡。打製石斧出土。		1
6	楳木1遺跡	長野原町林	縄文・平安	散布地。	事業団平成21年度調査。	48
7	楳木2遺跡	長野原町林	縄文・平安・中世・近世	縄文早期の集落、前期、中期の住居、平安時代の住居跡。	事業団平成12・13・16・17年度、町教委平成12年度調査。	4・34・40
8	楳木遺跡	長野原町林	縄文・弥生・平安・中世	縄文前期・後期、弥生時代の包含層。	事業団平成10年度調査。	20
9	滝沢観音岩窟	長野原町林	中世・近世	岩窟遺跡。「滝沢観音」の堂宇と石仏群。		1
10	二反沢遺跡	長野原町林	中世・近世	中世の石垣を伴う造成跡、近世水路、畑跡。(旧大乗院堂跡)	事業団平成12年度調査。	27
11	中種1遺跡	長野原町林	縄文・平安	散布地。	事業団平成11年度、町教委平成18・23年度調査。	10
12	中種2遺跡	長野原町林	近世	天明三年記流下の畑、安永九年と考えられる埋設畑等。	事業団平成11～13・15年度調査。	21・22
13	下原遺跡	長野原町林	縄文・弥生・古墳・平安・中世・近世	天明三年(1783)記流下の畑、中世の畑、古墳時代の住居跡等。	事業団平成12～16年度調査。	21・30
14	林宮原遺跡	長野原町林	縄文・古墳・平安	古墳時代の住居跡1軒、平安時代の住居跡6軒、土坑6基。	町教委平成14～16・18・20・24年度、事業団平成24年度調査。	5・8・10～12-16
15	林中原1遺跡	長野原町林	縄文・平安・中世・近世	町教委調査では、縄文後期前葉集落跡、住居跡1軒、配石遺構等。注目上層などの良好な出土遺物。事業団調査では、縄文前期～中期集落跡、中世掘立柱建物群をのみとした中・近世遺構群や城跡の一部を調査。	群大昭和47年度、町教委平成14～22年度、事業団平成16・20・21年度調査。	5・6・8～14
16	林中原2遺跡	長野原町林	縄文・弥生・中世・近世	縄文中期～後期の大型集落跡、弥生中期墓壇、住居跡4軒、中・近世掘立柱建物群を調査。	町教委平成15～19・21・22年度、事業団平成16・20・21年度調査。	6・8～10・14・15
17	下田遺跡	長野原町林	縄文・平安・近世	天明三年記流下の民家1軒、畑跡。織出土。	事業団平成6・7・9年度調査。	20
18	上原1遺跡	長野原町林	縄文・平安・近世	縄文前期・中期包含層、中期後葉住居跡1軒。	事業団平成23・24年度、町教委平成18・23・24年度調査。	10-17
19	上原2遺跡	長野原町林	平安	縄文中期初期型穴状遺構、焼土遺構、土坑。平安時代陥し穴。	事業団平成16年度、町教委平成18・23年度調査。	10
20	上原3遺跡	長野原町林	平安	縄文中期後半包含層、弥生中期土坑。平安時代製治土層、住居跡、焼土遺構、陥し穴等。	町教委平成18・23年度調査。	10
21	上原4遺跡	長野原町林	縄文・近世	縄文時代後期前半の敷石住居、晩期後半の土蓋。近世水路。	町教委平成14・18・20・24年度、事業団平成15・21年度調査。	5-10-12-33-38-48
22	花畑遺跡	長野原町林	縄文・平安	平安時代の住居跡、陥し穴群。	事業団平成9～12年度調査。	20
23	林の御塚	長野原町林	中世・近世	寛永二年(1625)に「権大僧都法印村信」の墳墓として築造されたと伝えられる。古墳の可能性も。	長野原町指定	
24	東原1遺跡	長野原町林	縄文・平安・中世	縄文土坑及び包含層、平安時代以降の陥し穴状土坑。中・近世の掘立柱建物跡2基等。	町教委平成17・18・24年度、事業団平成20年度調査。	9-10-46
25	東原2遺跡	長野原町林	縄文・平安・中世・近世	縄文包含層、陥し穴状土坑9基。中・近世での掘立柱建物跡1棟等。	事業団平成20年度調査。	46
26	東原3遺跡	長野原町林	平安・近世	縄文早期～後期包含層、中・近世の掘立柱建物跡4棟、内耳竈や古瀬戸など出土。江戸後期礎石建物跡1棟。	町教委平成15・18年度、事業団平成20・21年度調査。	46
27	立馬1遺跡	長野原町林	縄文・弥生・平安・中世・近世	小規模な縄文早期集落跡、晩期集落跡、弥生時代中期集落跡、塚相墓、平安時代集落跡、陥し穴状土坑等。	事業団平成13・14・17年度調査。	29
28	立馬2遺跡	長野原町林	縄文・弥生・平安	縄文早期包含層、中期前葉～後葉集落跡、住居跡1軒、陥し穴状土坑等。	事業団平成14年度調査。	26
29	立馬3遺跡	長野原町林	縄文・平安	縄文早期集落跡、住居跡3軒、中期住居跡1軒。良好な早期包含層、陥し穴状土坑等。	事業団平成19年度調査。	39
30	川原湯沼沼遺跡	長野原町川原湯	縄文・平安・近世	縄文晩期埋藏2基、平安時代集落跡、住居跡3軒。天明三年記流下畑跡等。	事業団平成9・15・16年度調査。	20-24
31	横壁湯沼遺跡	長野原町横壁	縄文・弥生・平安・中世・近世	縄文中期～後期の土器片、楕先形尖頭器。	事業団平成6～7年度調査。	20
32	横壁中村遺跡	長野原町横壁	縄文・弥生・平安・中世・近世	縄文中期～後期の大型集落跡。平安時代集落跡。中・近世の掘立柱建物群、礎石建物跡・土坑墓等。	事業団平成8～18年度調査。	20-21・23-25・28・31・36・37・42～45・47・50
33	山根1遺跡	長野原町横壁	縄文・平安	散布地。磨製石斧、石鏝、石棒などの石器類。	事業団平成12・17年度調査。	1
34	山根2遺跡	長野原町横壁	平安・近世	散布地。		1

No.	道 跡 名	所 在 地	主な時代	観 要	備 考	報告書等
35	山根町道跡	長野原町横原	縄文・弥生・平安・近世	縄文時代中期後葉集落跡。住居跡3軒。土坑3基。中・近世溝1基等。	事業団平成13・18年度、町教委平成16・17年度調査。	8・9・33
36	山根町道跡	長野原町横原	縄文・平安	縄文・平安時代の散布地とされる。	町教委平成19年度調査。	1
37	西久保Ⅰ道跡	長野原町横原	縄文・弥生・平安・中世・近世	縄文時代中期末葉集落跡。住居跡1軒。水場遺構等。	事業団平成6・10・12年度調査。	20
38	西久保Ⅱ道跡	長野原町横原	平安	平安時代の散布地とされる。		1
39	西久保Ⅲ道跡	長野原町横原	縄文	散布地。		1
40	西久保Ⅳ道跡	長野原町横原	縄文・平安・近世	縄文時代の土坑等、天明三年記流下の畑。	事業団平成12・21・23年度、町教委平成17年度調査。	48
41	柳沢城跡	長野原町横原	旧石器・縄文・中世	中世城跡。堀切・土居・礎石・腰曲輪・石組み遺構。陶磁器・鉄製品・銅製品。	町教委平成4・5年度調査。	2
42	久々戸道跡	長野原町長野原	縄文・近世	天明三年記流下の畑。建物跡、礎文の上器片。	事業団平成9～15年度、町教委平成19年度調査。	11・18・21・22
43	向原道跡	長野原町長野原	縄文・弥生・平安	縄文時代中期後半～後期の住居跡3軒・敷石住居2軒。土坑等、弥生時代中期の上坑。平安時代の住居跡10軒。	事業団平成5・19年度調査。	3・11
44	嶋木Ⅰ道跡	長野原町長野原	近世	天明三年記流下の畑跡。近世の陶磁器片。	町教委平成16・22年度調査。	8・15
45	嶋木Ⅱ道跡	長野原町長野原	縄文・平安	縄文中期の上器片、石器出土。		1
46	嶋木Ⅲ道跡	長野原町長野原	縄文	縄文中期の石鏡、石鏃等出土。		1
47	長野原城跡	長野原町長野原	中世	土塁や堀切・物見台等が残る。長野原合戦の舞台。	事業団平成23年度調査。	
48	町道跡	長野原町長野原	近世	天明三年記流下の畑。	事業団平成23年度調査。	

#### 参考文献

- 1 長野原町教育委員会 1990 『長野原町の道跡―町内道跡詳細分布調査―』 長野原町埋蔵文化財調査報告第1集
- 2 長野原町教育委員会 1995 『横原城跡』 長野原町埋蔵文化財調査報告第4集
- 3 長野原町教育委員会 1996 『向原道跡』 長野原町埋蔵文化財調査報告第5集
- 4 長野原町教育委員会 2002 『町内道跡Ⅰ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第9集
- 5 長野原町教育委員会 2003 『町内道跡Ⅱ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第11集
- 6 長野原町教育委員会 2004 『本松原道跡Ⅱ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第13集
- 7 長野原町教育委員会 2005 『町内道跡Ⅱ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第15集
- 8 長野原町教育委員会 2005 『町内道跡Ⅲ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第15集
- 9 長野原町教育委員会 2006 『町内道跡Ⅳ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第16集
- 10 長野原町教育委員会 2007 『町内道跡Ⅴ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第17集
- 11 長野原町教育委員会 2009 『町内道跡Ⅵ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第18集
- 12 長野原町教育委員会 2010 『町内道跡Ⅶ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第19集
- 13 長野原町教育委員会 2010 『林中原道跡Ⅳ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第20集
- 14 長野原町教育委員会 2011 『町内道跡Ⅷ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第21集
- 15 長野原町教育委員会 2012 『本松原道跡Ⅲ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第22集
- 16 長野原町教育委員会 2012 『本松原道跡Ⅳ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第23集
- 17 長野原町教育委員会 2013 『町内道跡Ⅷ』 長野原町埋蔵文化財調査報告第25集
- 18 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998 『長野原久々戸道跡』 県道長野原早掛1号停車場道路(橋梁)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
- 19 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『長野原一本松道跡(1)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第1集
- 20 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002 『ハツタダム発掘調査(1)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第2集
- 21 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003 『久々戸道跡・中継道跡・下原道跡・横原中村道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第3集
- 22 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004 『久々戸道跡(2)・中継道跡(2)・西ノ上道跡・日野A道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第4集
- 23 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『横原中村道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第5集
- 24 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005 『向原道跡Ⅱ道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集
- 25 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『横原中村道跡(3)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集
- 26 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『立馬Ⅱ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第8集
- 27 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『上野Ⅱ道跡・廣石A道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第9集
- 28 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『横原中村道跡(4)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第10集
- 29 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2006 『立馬Ⅰ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第11集
- 30 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『下原Ⅱ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第12集
- 31 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『横原中村道跡(5)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第14集
- 32 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2007 『長野原一本松道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第15集
- 33 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『幸増道跡・上原Ⅱ道跡(1)・山根道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第17集
- 34 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『嶋木Ⅱ道跡(1)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第18集
- 35 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『長野原一本松道跡(3)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第19集
- 36 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『横原中村道跡(6)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第20集
- 37 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『横原中村道跡(7)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第22集
- 38 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2008 『長野原一本松道跡(4)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第24集
- 39 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『立馬Ⅲ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第26集
- 40 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『嶋木Ⅲ道跡(2)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第27集
- 41 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『長野原一本松道跡(5)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第28集
- 42 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『横原中村道跡(8)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第29集
- 43 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2009 『横原中村道跡(9)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第30集
- 44 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010 『横原中村道跡(10)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第33集
- 45 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010 『横原中村道跡(11)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第34集
- 46 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2010 『東原Ⅰ道跡・Ⅱ道跡・Ⅲ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第35集
- 47 (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012 『横原中村道跡(12)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第37集
- 48 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2012 『嶋木Ⅰ道跡・上原Ⅱ道跡(2)・西久保Ⅳ道跡』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第39集
- 49 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013 『長野原一本松道跡(6)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第40集
- 50 (公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団 2013 『横原中村道跡(13)』 ハツタダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第41集

### 第3章 検出された遺構と遺物

#### 第1節 遺構・遺物の概要

検出された遺構および遺物について、時代毎に概要を記す。

##### 出土遺構

**縄文時代** 住居跡9軒、掘立柱建物跡1棟、埋喪1基、土坑207基である。なお、4-22・6-13号住居はそれぞれ平成15年度、平成13年度に一部を調査している。いずれも、時期は中期後葉に比定されるものである。掘立柱建物は6区において検出された。長方形で、長軸を東西に持つ6本柱である。埋喪は3区において検出された1基のみである。土坑に関しては、住居の周辺に多く検出された。6区、96区に集中している。円形で比較的規模の大きなものが目立つ。時期はやはり、中期後葉と判断される。

弥生時代に関しては、7区において土器片がまとまって検出されたが、遺構に関しては確認できなかった。平安時代 7区において方形で焼土を伴う遺構を検出している。削平が顕著で、出土遺物は須恵器片が1片のみである。住居としたが、疑問の残る遺構である。陥し穴はこの時期のものが主体を為すと思われる。すべての区において検出されているが、7・8区において計画的に配された状況で、多数確認された。

中・近世 陥し穴の一部はこの時期にまで下るものと思われる。また、7区において9棟の掘立柱建物跡が一部重複して確認された。7区において検出された石垣、石列、ヤックラは近世以降と判断される。3区において検出された1号石垣は傾斜地に築かれ、一部にAs-Aが認められた。

##### 出土遺物

##### 縄文時代の土器

遺構に伴って出土したものはあまり多くない。時期は中期後半から後期前半のものが、そのほとんどを占めている。遺構に関しても、この時期と判断されたものが中心である。今回の調査で検出された住居の時期は、いずれも中期後半と考えられるもので、土坑などもこれらを中心とする時期であるが、後期初頭から前半期の称名寺式期から堀之内2式期に比定される土坑も少数ながら確認されている。中期後半期の土器群には比較的多くの信州系の土器も見られる他、僅かではあるが越後系も散見される。

##### 弥生時代の土器

7区においては集中して弥生時代中期の土器がややまとまって検出されている。遺構については確認されなかったが、長野原一本松遺跡においては注意される一群である。いずれも甕を中心とするもので、条痕文、細縄文が施される。底部片については網代痕を有す。

平安時代 遺構に伴って須恵器が1点出土している他、遺構外より2点の破片が出土しているのみである。中・近世掘立柱建物跡が検出された7区・4区を中心に、若干の内耳土器片や陶磁器片が出土している。

##### 石器

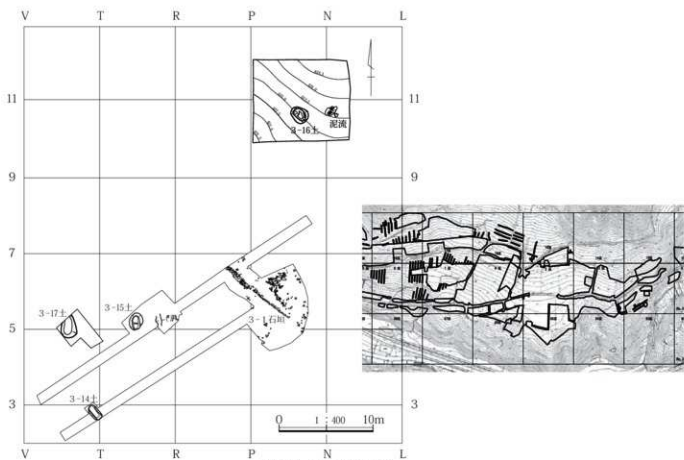
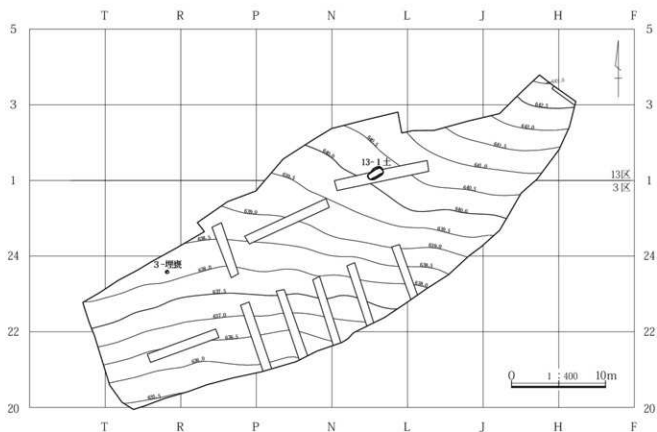
遺構出土のもの遺構外出土を含めおよそ100点が出土している。石籬が最も多く30点を数える。有茎のものは1点のみで、凹基のものがほとんどである。石材は黒曜石が主体で一部にチャート製が見られる。

1点だけ尖頭器状の製品が見られる。石籬に次いで多いものは打製石斧である。20点を数える。欠損品が多く、形状的には撻形が多く、基部の両側が僅かにくびれたものも目立つ。石材は安山岩製のものが主体を占める。磨製石斧は刃部を欠く1点と、刃部の小破片が出土しているのみである。住居出土遺物中には磨石、凹石、石皿さらには多孔石などが僅かながら見られる。

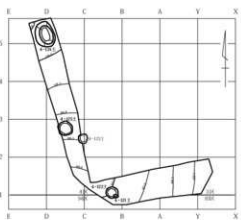
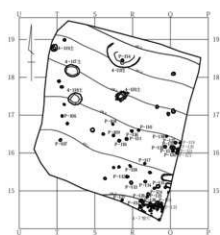




第6図 長野原一本松遺跡全体図

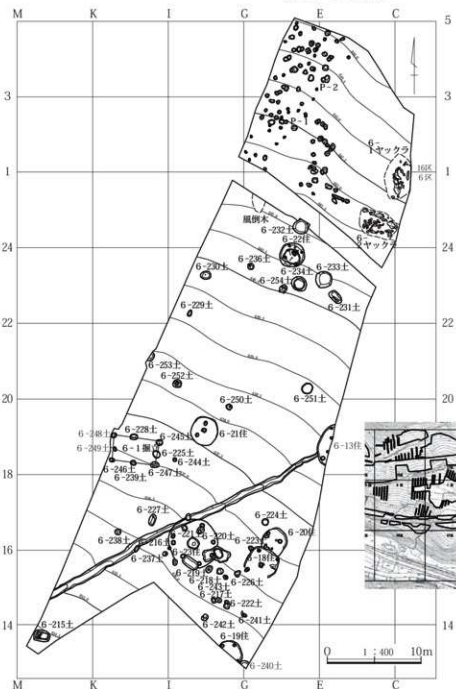


第7図 3・13区全体図



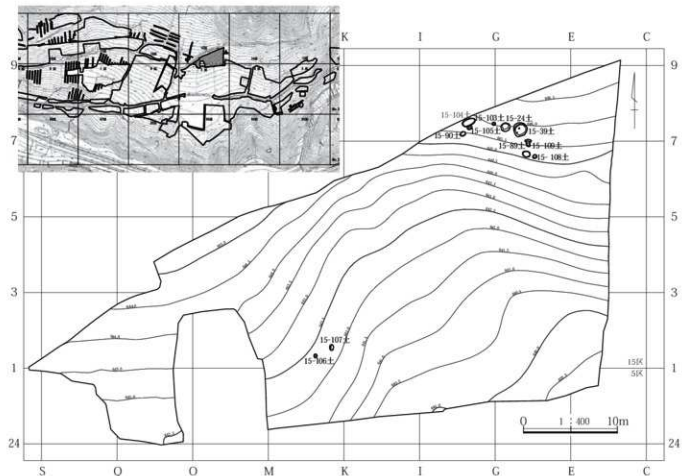
0 1 : 400 10m

第8図 4区全体図

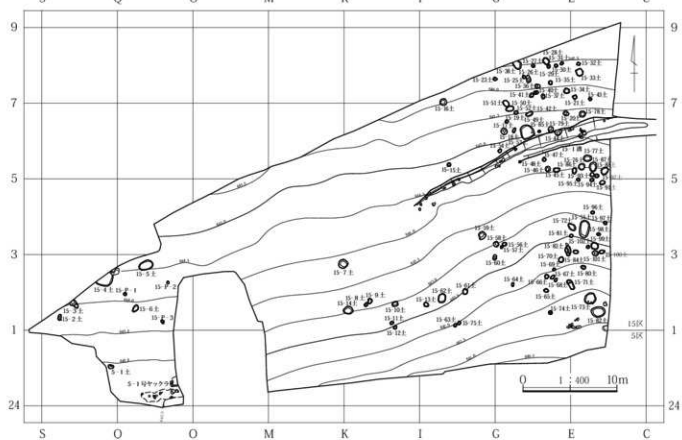


0 1 : 400 10m

第9図 6・16区全体図

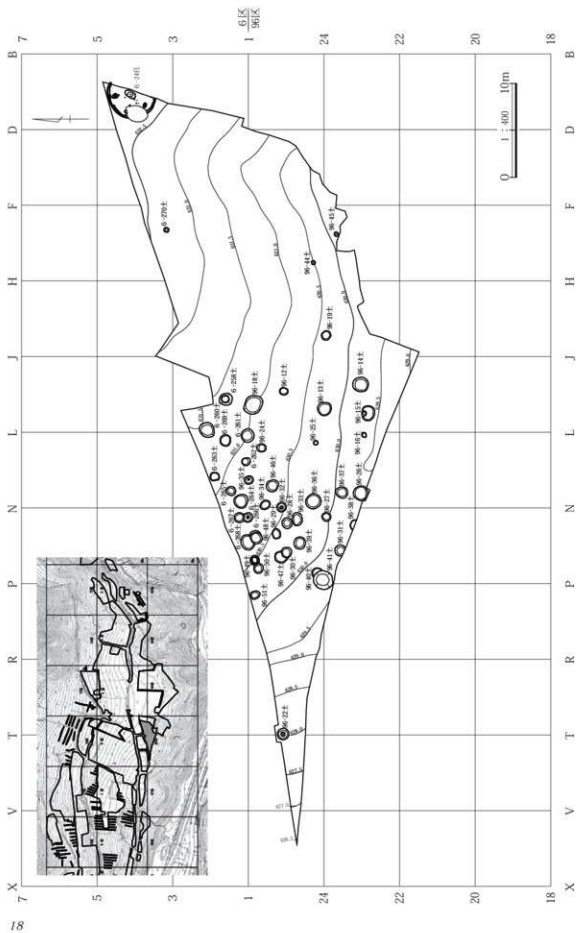


第10图 5・15区全体图(縄文面)

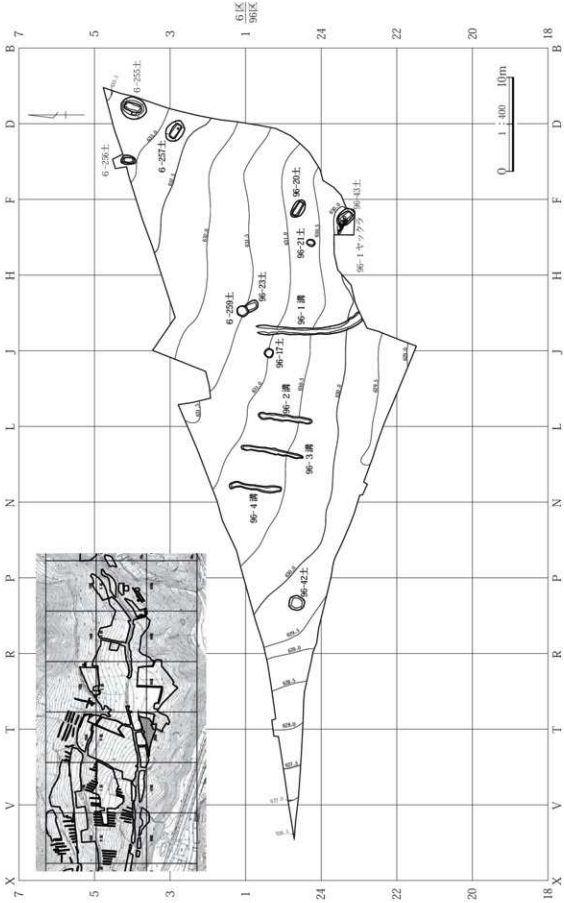


第11图 5・15区全体图(平安～近世)

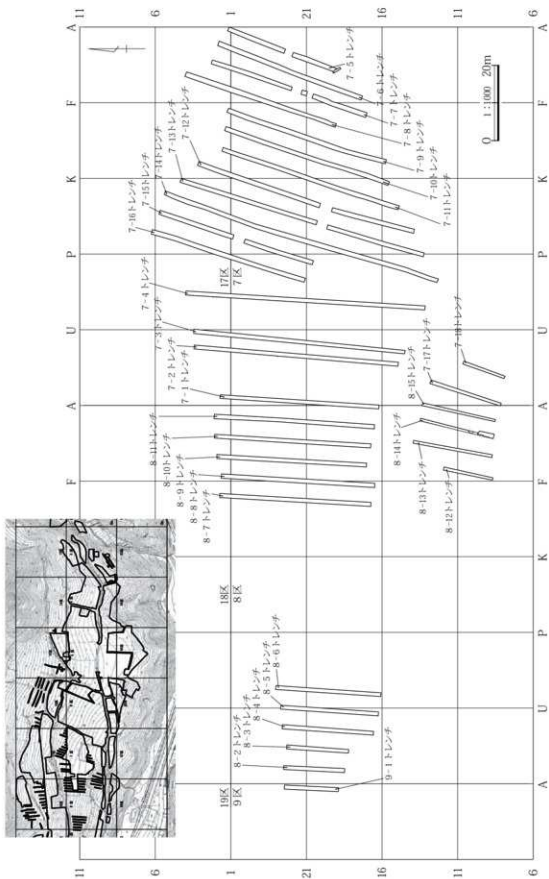




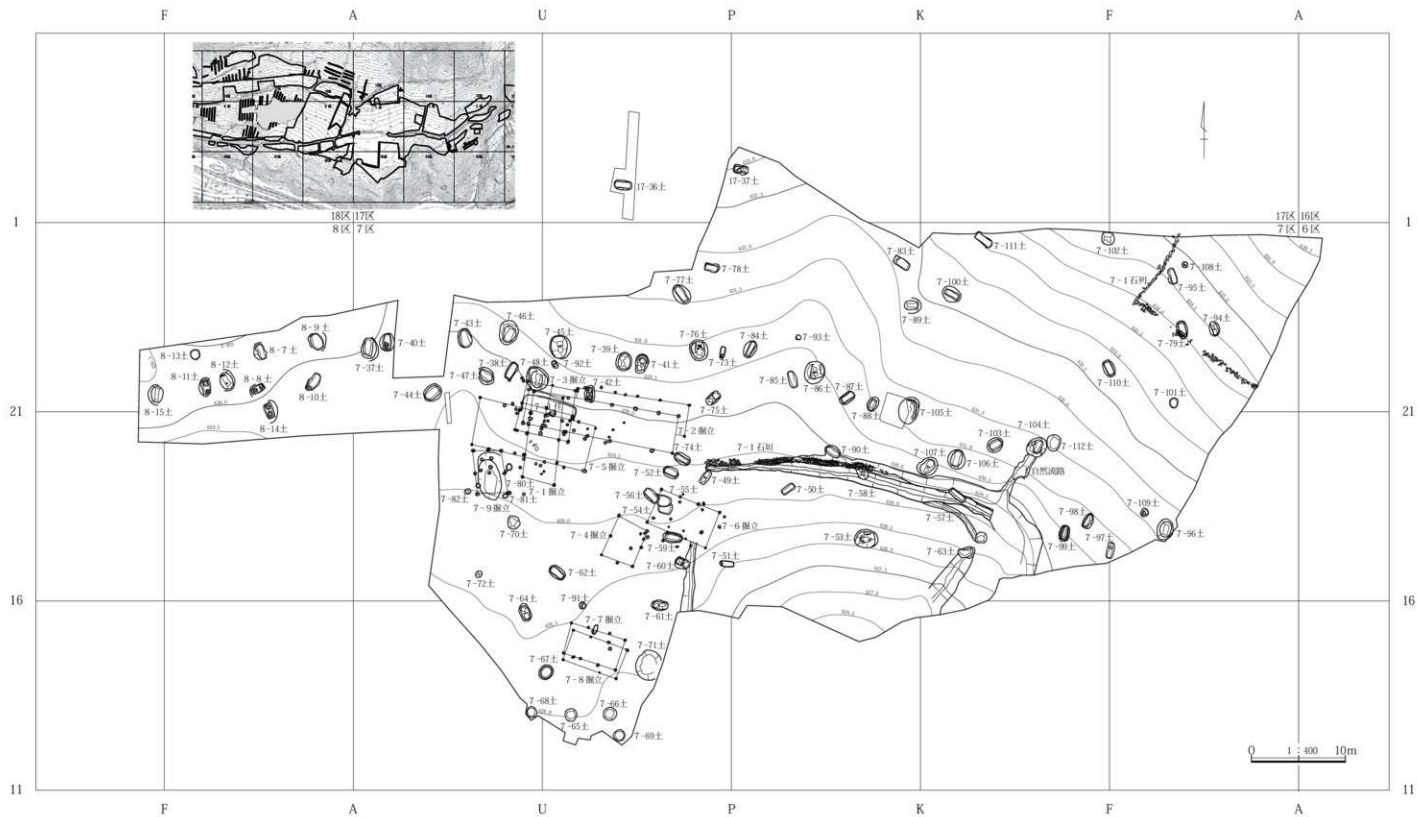
第12図 6・96区全体図(縄文面)



第13図 6・96区全体図(平安～近世)



第14図 7・8・17・18区トレンチ配置図



第15图 7·8·17区全体图

## 第2節 縄文時代の遺構と遺物

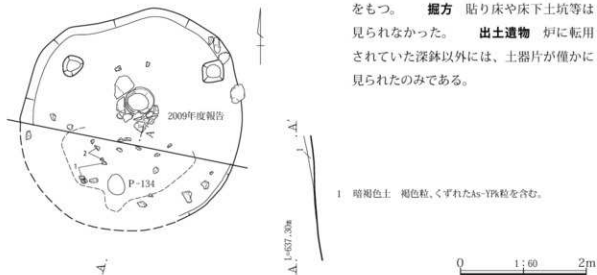
## 1 住居跡

## 4-22号住居跡 (第16・17図: PL.3・55)

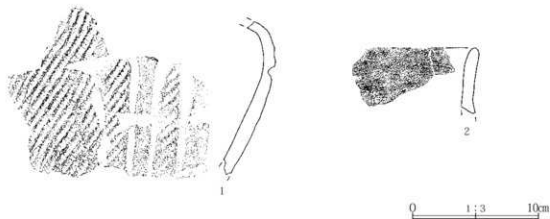
**位置** Q・R-18グリッドに位置する。**確認** 径3.5mほどの半円形状の掘込みを確認し、これは平成15年度に北側半分の調査を行った4-22号住居跡の南半部と判断した(「長野原一本松遺跡(5)」2009)。

**形状** 円形。**規模** 360×350×33cm。**方位** N-70°-W。**床面** 中央部分は平坦であるが、やや南に下がり、北縁部分は40cmほどの壁高をもつが、南縁部分は掘込みが浅いために削平されて確認できない。**炉** 炉の部分の調査は平成15年度に行っている。全体の中央からやや北側に作られている。大型の深鉢上半部が床面に埋められた土器で、土器の外周囲に礫が配されていた。土器の埋土中には若干の炭化物が見られたが、焼土はほとんど確認されなかった。**柱穴** 平成15年度調査の北側部分に2箇所検出されているが、今回調査を行った部分については、明確なものは検出されていない。北側の2個

はいずれも径30cm、深さ20cmの不整形掘方をもつ。**掘方** 貼り床や床下土坑等は見られなかった。**出土遺物** 炉に転用されていた深鉢以外には、土器片が僅かに見られたのみである。



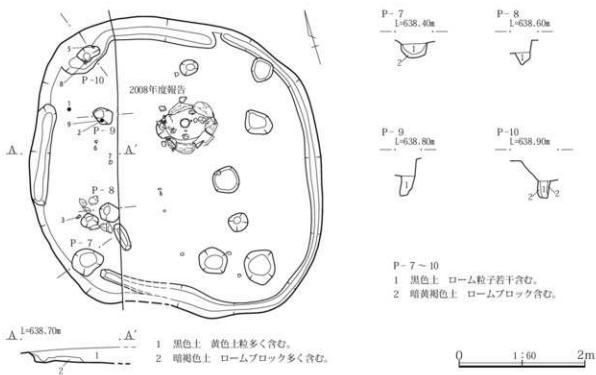
第16図 4-22号住居跡



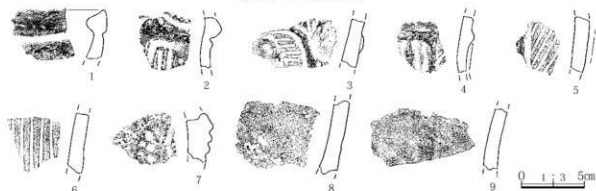
第17図 4-22号住居跡出土遺物

6-13号住居跡 (第18・19図: PL. 3・55)

**位置** D-18・19グリッドに位置する。**重複** 南壁に6-203号土坑が重複、東側3分の2は平成13年度に調査を行っている(「長野原一本松遺跡(3)」2008)。**形状** やや不整形な隅丸方形を呈す。西壁壁下に長さ2m程の周溝が検出された。**規模** 460×450×24cm。**方位** N-18°-E。**床面** 暗褐色を呈す貼り床であるがあまり堅くはない。比較的平らであるが、南に向かって傾斜を持つ。**炉** 中央やや北寄りに作られている、偏平な碟や板状の礫で囲った石囲い炉である。炉底部中央に深鉢の胴部が据えられていた。**柱穴** 今回検出した範囲では4本を確認、すでに調査を行った東側部分と併せて検討した結果、壁下寄りの4本あるいは6本と想定される。**埋裏** 検出されなかった。**掘方** 貼り床や、床下土坑等は見られなかった。**出土遺物** 破片類が多く出土、比較的大型のものは中央部分に集中する。石器類は打製石斧、磨石、石皿の破片等が出土している。**時期・所見** 平面図は平成13年度調査した部分と合わせたものである。形状はやや4辺が直線的な隅丸方形か、炉の周辺に数本のピットを確認したが、建て替えの痕跡は確認できなかった。時期は中期後葉と判断される。



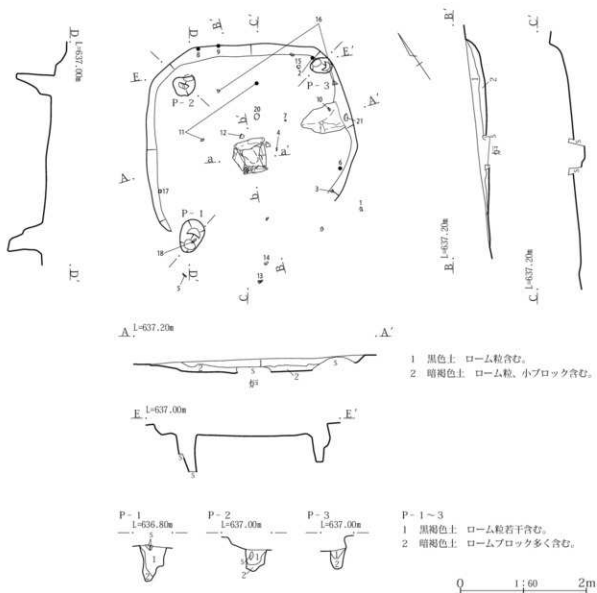
第18図 6-13号住居跡



第19図 6-13号住居跡出土遺物

## 6-18号住居跡 (第20～23図: PL. 3・55)

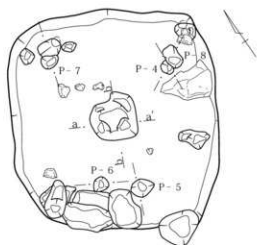
**位置** F-15・16グリッドに位置する。**重複** 無し。**形状** 隅丸方形。南壁部分は削平されており確認できなかった。**規模** 350×330×20cm。**方位** N-30°-E。**床面** やや凹凸があるが比較的平らである。硬化面は見られない。また、東壁住居内に大きな地山礫が露出している。**炉** 中央に造られている。4石をほぼ方形に配しているが、南側がやや狭まる。規模は約50×50cmである。**柱穴** 四隅に4本を持つ構造と考えられるが、南隅のものは判然としなかった。掘方時に柱穴と思われるピットが検出されたが、位置的にはやや範囲外となる。入り口部に1対の小ピットが検出されている。**埋藏** 検出されなかった。**掘方** 若干の小ピットが確認された他、入り口部に不定型な土坑が検出された。本址に伴うかは不明。**出土遺物** 炉の周辺部分を中心に小破片が見られた。**時期・所見** やや後出のものも見られるが、時期は中期後葉と判断される。石器は石鏃、打製石斧、磨石の他大型の板状礫を用いた石皿が出土している。南側が削平されており残存状況は悪い。



第20図 6-18号住居跡(1)

第3章 検出された遺構と遺物

掘方



P-4  
L=636.80m



P-5  
L=636.80m



P-6  
L=636.80m



P-7  
L=636.80m



P-8  
L=636.80m

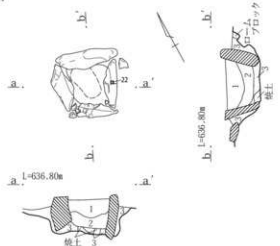


P-4~8

- 1 黒褐色土：ローム粒若干含む。
- 2 暗褐色土：ロームブロック多く含む。

0 1:60 2m

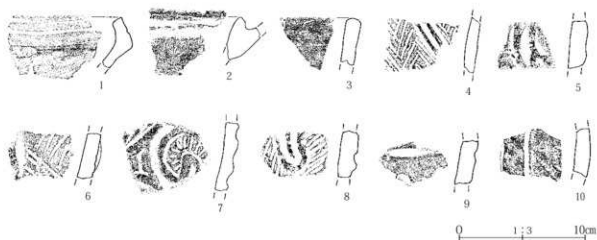
存跡



- 1 黒色土 (As-YPK)少量含む。
- 2 黒褐色土 (As-YPK)若干、焼土粒若干混入。
- 3 暗黄褐色土：ロームブロック少量、小礫含む。

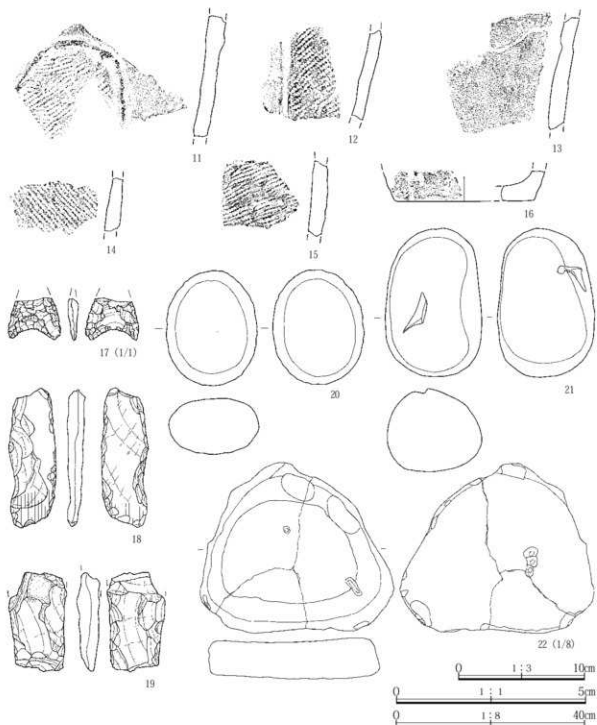
0 1:30 1m

第21図 6-18号住居跡(2)



第22図 6-18号住居跡出土遺物(1)



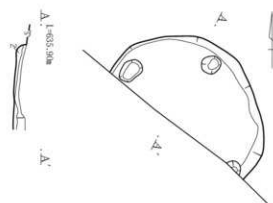


第23図 6-18号住居跡出土遺物(2)

6-19号住居跡 (第24・25図：PL. 3・4・55)

**位置** G-13グリッドに位置する。**重複** 調査区の南端に検出、南側約半分は調査区外となる。**形状** 小型の円形。**規模** 280×(280)×18cm。**方位** N-14°-W。**床面** ほぼ平坦であるが、堅さは見られない。**炉** 検出されなかった。**柱穴** 壁寄りに3本を検出した。**埋葬** 無し。**掘方** 貼り床や床下土坑の検出は無い。**出土遺物** 極めて少ない。**時期・所見** 住居としたが、炉が認められなかったことからやや確定しがたい点がある。時期は不明である。

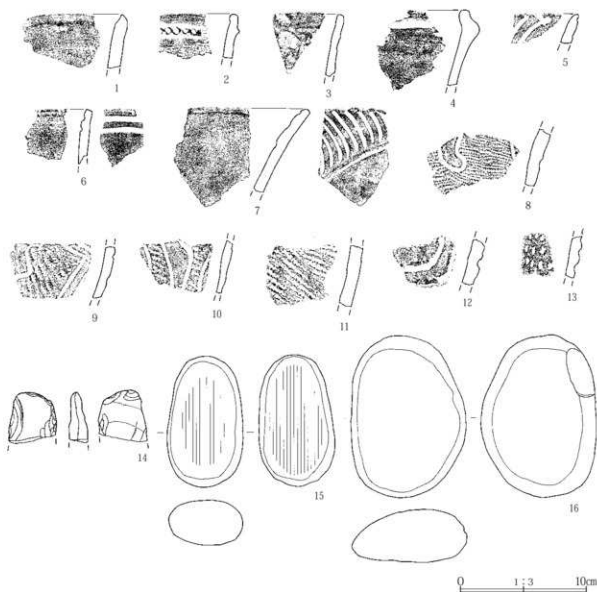
第3章 検出された遺構と遺物



- 1 黒色土 若干のローム粒子含む。
- 2 暗黒褐色土 ロームブロック(粒状)多く含む。

0 1:60 2m

第24図 6-19号住居跡

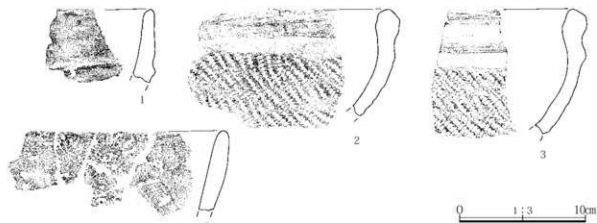
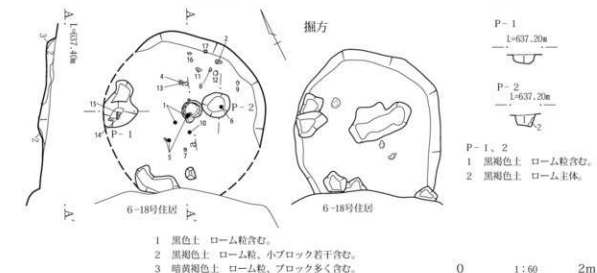


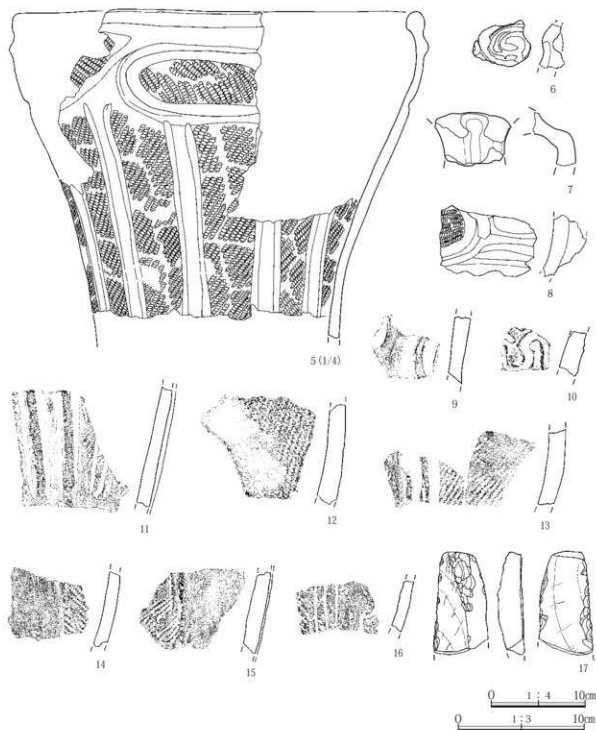
第25図 6-19号住居跡出土遺物

## 6-20号住居跡 (第26～28図: PL. 4・56)

**位置** E・F-15・16グリッドに位置する。 **重複** 南側に6-18号住居跡が重複、本址を切っている。

**形状** やや長円形を呈す。 **規模** (265)×(250)×27cm。 **方位** N-26°-E。 **床面** 平坦ではあるが、縮まりは見られなかった。 **炉** ほぼ中央に造られた埋設土器炉である。口縁、底部を欠いた深鉢胴部が、浅く掘り込まれた部分に据えられている。内部には礫や土器片が落ち込んでいた。また、若干の炭化物、焼土が見られた。 **柱穴** 3カ所のピットを認めたが、明確なものは見られなかった。 **埋篋** 炉に据えられた土器の他は見られない。 **掘方** 全体にほぼ平坦で、中央部に長軸1.0m、短軸40cm、深さ20cmの不整形の掘込みが検出された。 **出土遺物** 炉に据えられた土器以外には土器片と欠損した打製石斧が1点のみである。 **時期・所見** 小型の住居で、炉に据えられた土器から中期後葉と判断される。



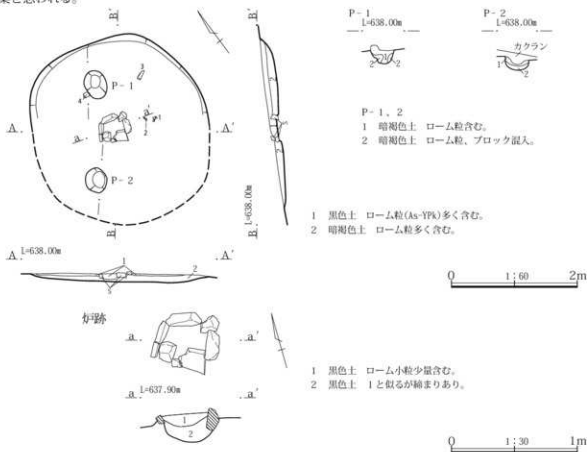


第28図 6-20号住居跡出土遺物(2)

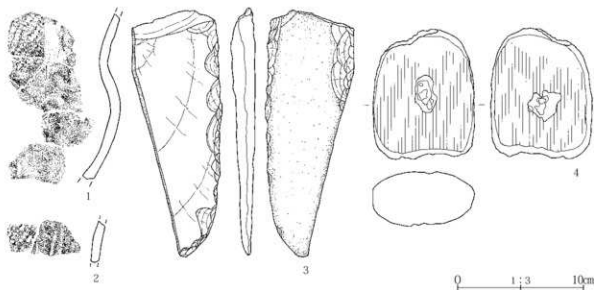
6-21号住居跡 (第29・30図: PL. 4・5・56)

**位置** G・H-18・19グリッドに位置する。 **重複** 無し。 **形状** やや長円形を呈す。 **規模** (300) × 280 × 20cm。 **方位** N-27° - E。 **床面** 明確な使用面は確認できなかった。全体に締まりも良くない。 **炉** ほぼ中央に台形に組まれた石囲いである。焼土、炭化物はほとんど見られなかった。 **柱穴** かの北側と南側にやや浅い掘り込みを認めたが、柱穴との判断には至らなかった。 **埋篋** 見ら

れない。掘方 張り床や床下土坑は見られなかった。出土遺物 極めて少なかった。土器片と大型の石刃および凹石が見られたのみである。時期・所見 竪穴の検出、および北側部分に残存する壁の一部から住居と判断したものである。上位を大きく削られており、遺存状態は悪い。時期は出土遺物から中期後葉と思われる。



第29図 6-21号住居跡

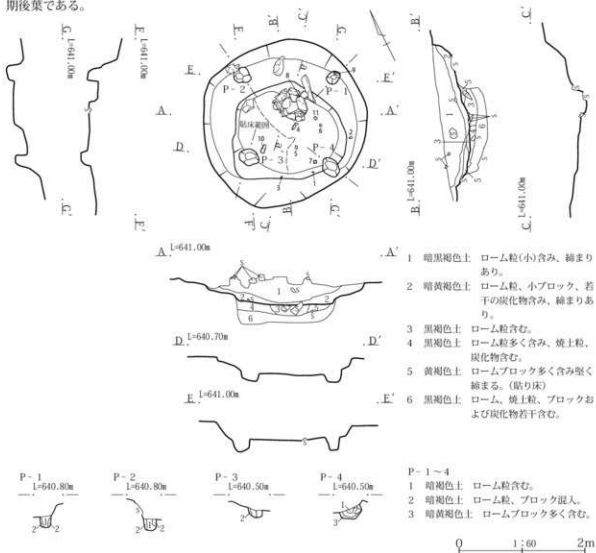


第30図 6-21号住居跡出土遺物

6-22号住居跡 (第31～34図: PL. 5・6・56)

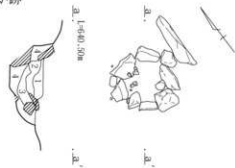
**位置** E-23・24、F-23グリッドに位置する。今回の調査区内において、もっとも北側に検出されている。**重複** 無し。**形状** 小型の円形を呈す。遺構面は南にやや傾斜しており、北側の部分の掘り込みは比較的深いが、南側部分については壁の立ち上がりかほとんど確認できなかった。**規模** 270×260×40cm。**方位** N-37°-E。**床面** 壁下部分については平坦面が巡るが、炉を含む中央部分がやや落ち込んだ状態で、比較的締まりが良い。**炉** 中央やや北寄りに検出された、一段落ち込んだ部分の北縁部分に構築されている。10個ほどの角礫をほぼ円形に、やや外傾させた状態で配している。内部には若干の焼土、炭化物が認められた。**柱穴** 壁下に4本を検出した。径20cm、深さも20cm程である。

**埋戻** 検出されなかった。**掘方** 中央の落ち込んだ部分を掘り下げたところ、長さ180cm、短径140cm、深さ40cmの土坑状の掘り込みとなった。断面の観察から人為的に埋めている状況が見られる。**出土遺物** 覆土上層から多くの礫が出土しているが、土器、石器類の出土は少なかった。**時期・所見** 住居の構造から、土坑を埋めた後に、周囲を拡張して住居を構築したものと見られる。炉を含む土坑部分が一段下がった形状が意識したものか、居住している中で落ち込んでしまったのかは不明である。時期は出土土器から中期後葉である。

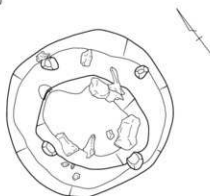


第31図 6-22号住居跡(1)

炉跡



掘方

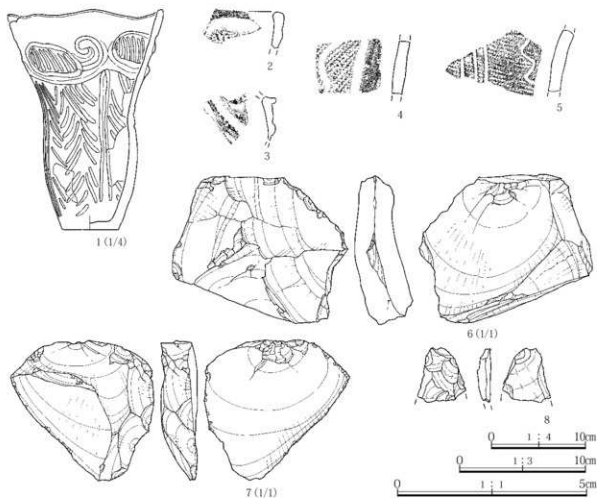


- 1 黒褐色土 ローム粒、炭化物、若干の焼土粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒、焼土粒多く含む。
- 3 暗赤褐色土 炭化物、焼土粒含む。
- 4 黒褐色土 若干のローム粒含む。

0 1:30 1m

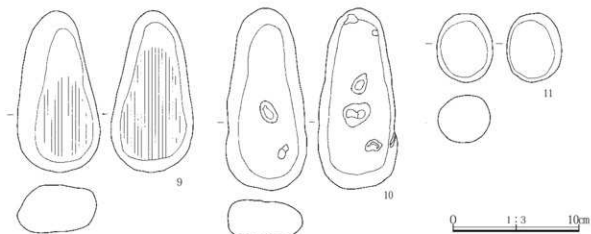
0 1:60 2m

第32図 6-22号住居跡(2)



第33図 6-22号住居跡出土遺物(1)

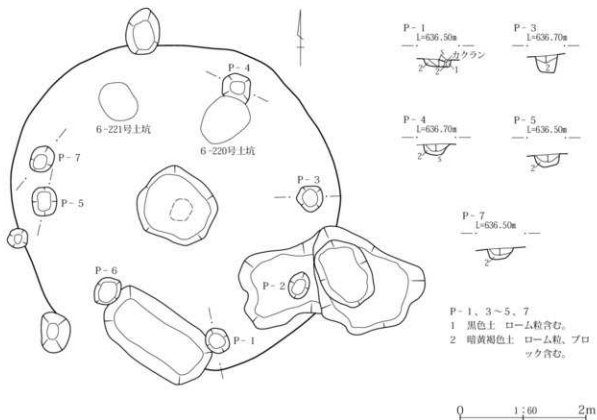
第3章 検出された遺構と遺物



第34図 6-22号住居跡出土遺物(2)

6-23号住居跡 (第35・36図: PL. 6)

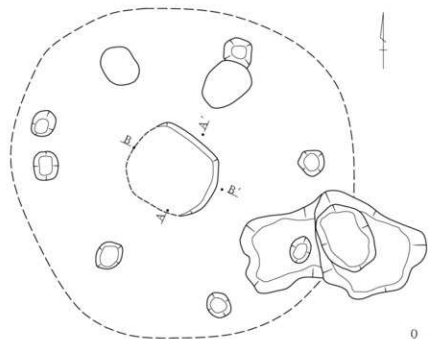
**位置** 調査区の南寄り、G・H-15・16グリッドに位置する。**重複** 土坑、および溝が重複する。**形状** 円形を呈すと思われる。**規模** 545×535×—cm。**方位** N-45°—E。**床面** 使用面については削平されている。**炉** 住居のほぼ中央に隅丸方形の堀方の下部を確認した、中央部分に径30cm程の焼土範囲を認めたのみである。**柱穴** 炉を取り巻くように7本を検出。**埋篋** 検出されなかった。**掘方** 特に土坑等は認められなかった。**出土遺物** 見られない。**時期・所見** 炉の堀方、およびこれを取り囲んで検出された柱穴から住居と認定したもので、住居自体はほぼ削平されている状況である。中期後葉と思われるが、遺物が無いため詳細な時期は不明である。



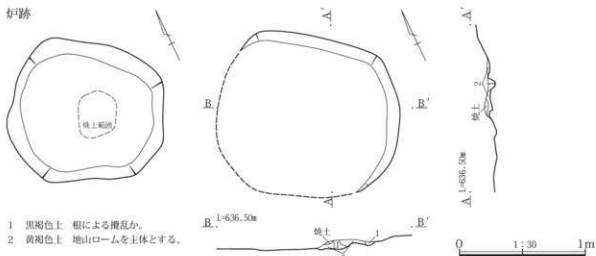
第35図 6-23号住居跡(1)



掘方



炉跡



- 1 黒褐色土 根による攪乱か。  
2 黄褐色土 地山ロームを主体とする。

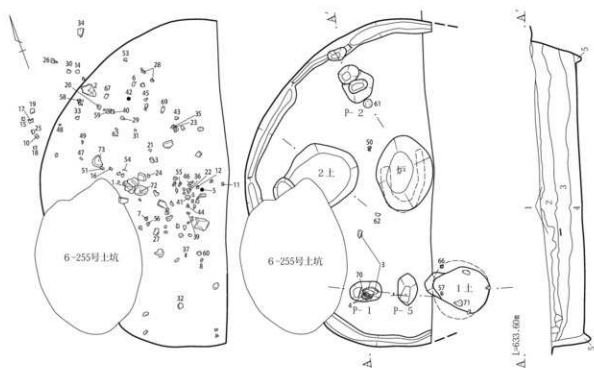
第36図 6-23号住居跡(2)

## 6-24号住居跡 (第37～42図：PL. 6・7・57～59)

**位置** B・C-3・4グリッドに位置する。 **重複** 東側は工事により掘削を受ける。また、西壁部分に6-25号土坑(陥し穴)が重複する。 **形状** 円形であったと考えられるが、東半分は削平を受けている。

**規模** 520×-×65cm。 **方位** N-17°-E。 **床面** 平坦で、炉の周辺部は良く締まっている。壁下に幅20cm程の周溝がほぼ全周する。 **炉** ほぼ中央に検出された、地床炉で長さ1.2m、幅70cm程の長円形の浅い掘り込みである。下面は部分的に焼土が見られる。 **柱穴** 検出部分において壁下に巡る4本を検出した。 **埋戻** 検出されなかった。 **掘方** 部分的に貼り床が見られる。 **出土遺物** 比較的多くの土器片および石器類が出土している。 **時期・所見** 東側半分が削平されてしまったものの、調査部分の残りは良好である。炉については、炉石を据えた跡が見られず、この時期としては少ない地床炉構造の住居である。時期は中期中葉古段階と見られるが、遺物は中期末葉段階のものも混在している。

第3章 検出された遺構と遺物



- 1 黒色土 若干のローム粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒を含み全体に軟質。
- 3 黒褐色土 ローム粒含み締まる。
- 4 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- 5 暗褐色土 ローム粒、ブロック多く含む。
- 1 黒色土 若干のローム粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒を含み全体に軟質。
- 3 黒褐色土 ローム粒含み締まる。
- 4 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- 5 暗褐色土 ローム粒、ブロック多く含む。

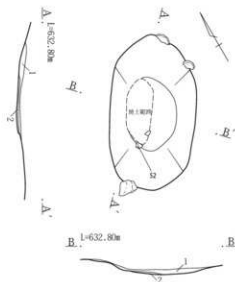
P-1

- 1 黒色土 ローム粒、ブロック含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒を全体に含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒含み締まる。

P-2、5

- 1 黒色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒全体に含む。
- 3 暗褐色土 ローム粒を含み、軟質。
- 4 ローム土
- 5 黒褐色土 ローム粒含み締まりあり。
- 6 黄褐色土 ローム主体、暗褐色土含む。

埋跡



床下土坑

1土  
L=632.80m

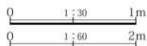


- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒少量含む。
- 3 黄褐色土 ロームを多く含む、褐色土ロームブロック少量含む。

2土  
L=632.90m



- 1 暗赤褐色土 若干の焼土ブロック混入。
- 2 暗黒褐色土 部分的に焼土化した地山層。

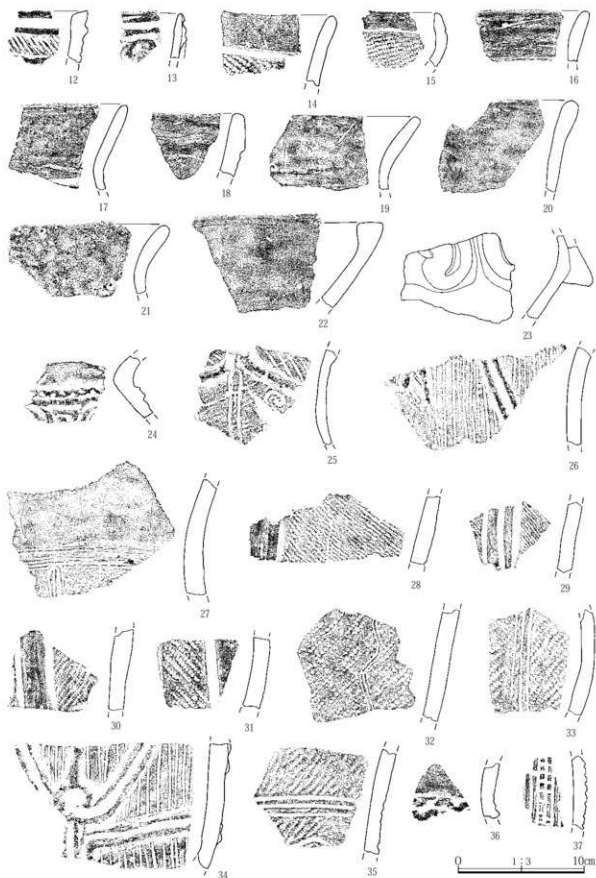


第37図 6-24号住居跡

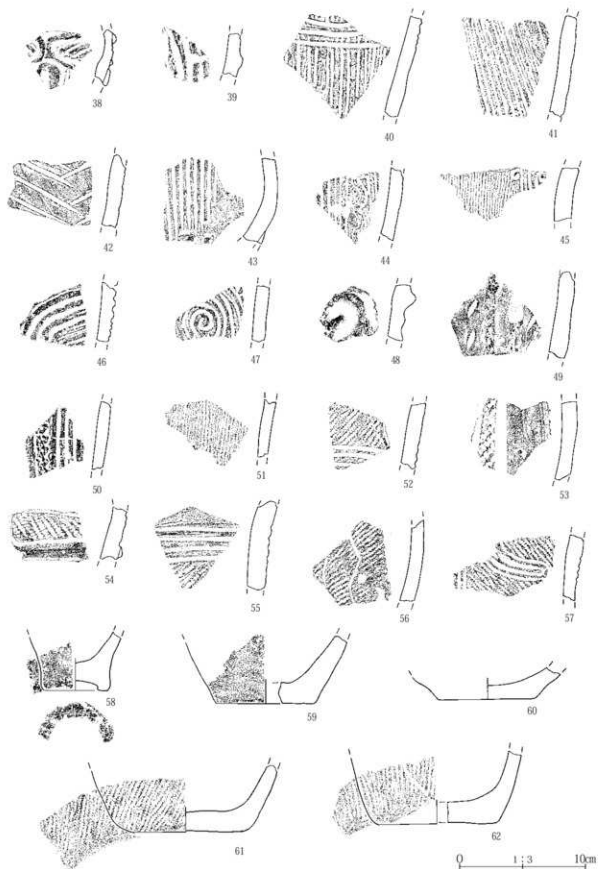


第38図 6-24号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物

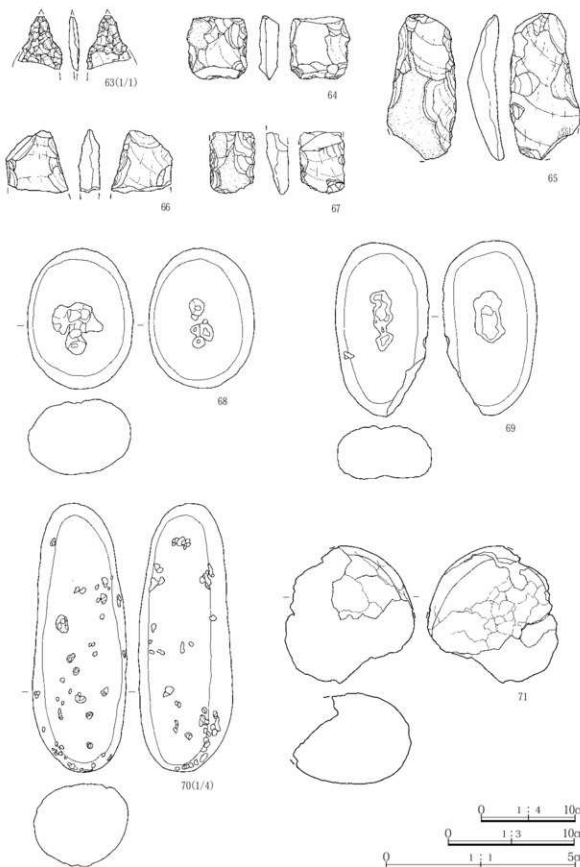


第39図 6-24号住居跡出土遺物(2)

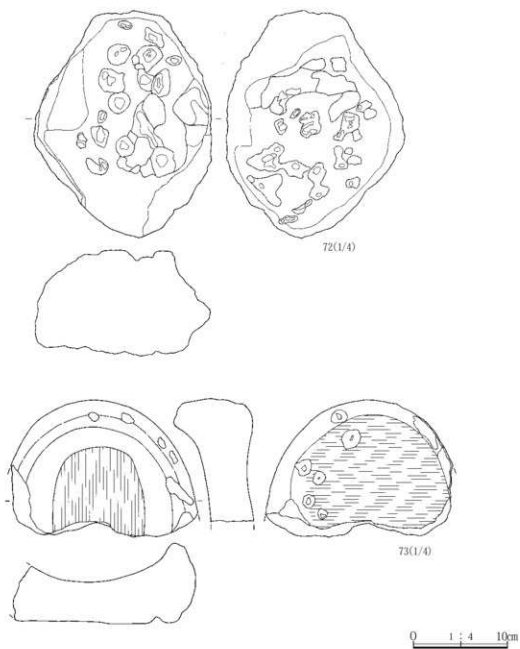


第40図 6-24号住居跡出土遺物(3)

第3章 検出された遺構と遺物



第41図 6-24号住居跡出土遺物(4)



第42図 6-24号住居跡出土遺物(5)

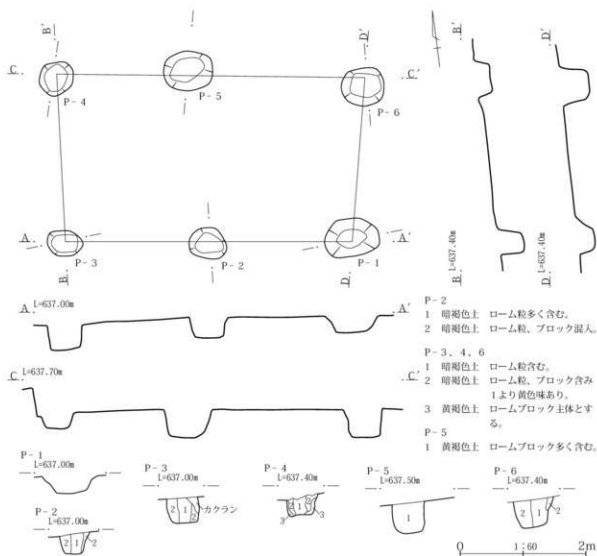
## 2 掘立柱建物跡

### 6-1号掘立柱建物跡 (第43図: PL.7・8)

**位置** I・J-18・19グリッドに位置する。 **重複** なし。 **形状** 柱間は1間×2間で、長軸を東西にもつ6本柱の長方形。 **規模** 470×270cm。 **主軸方向** N-80°-W。 **柱穴** 直径48~74cm、深さ27~65cm。 **出土遺物** なし。 **所見・時期** 当初は単独の土坑として調査を開始したが、完掘後にそれらが規則的な長方形に配列することが確認されたことから、掘立柱建物跡と判断した。掘立内には、かなどの施設は認められなかった。P-2、3、4、6では、断面に柱痕が認められた。南に向かう傾斜地に構築されており、北側と南側では約40cmの比高差がある。時期は縄文時代中期後葉か。

6-1号掘立柱建物跡 柱穴計測値

柱穴	P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6
直径(cm)	74	54	48	54	70	64
深さ(cm)	27	34	40	65	45	44



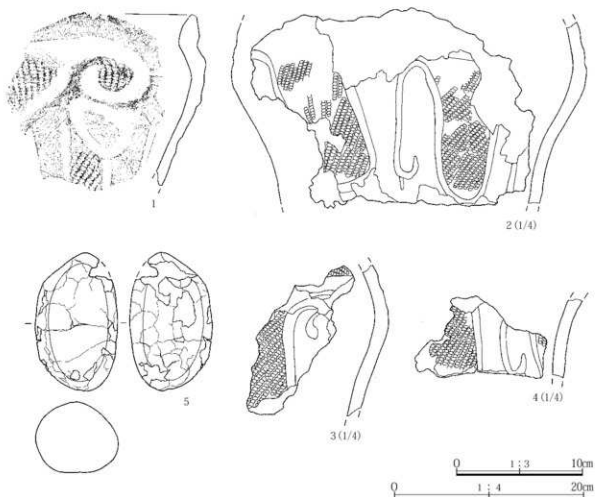
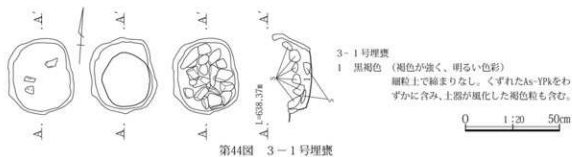
第43図 6-1号掘立柱建物跡



## 3 埋喪

## 3-1号埋喪 (第44・45図: PL. 8・59)

中学校建設工事用進入路において検出された。3区R-23グリッドに位置する。周囲に同時期の遺構は見られず、単独の埋喪である。やや南に向かう傾斜地に、正位状態で確認された。上部は削られており、口縁部分を欠損しているものと見られる。土器は焼成が良くない上に、木の根が入り込み、かなり脆弱で歪みが著しい状態であった。土器の内部には土器片の他、30個ほどの小礫が、詰め込まれた状態で検出されている。礫はいずれも強く火を受けた様子が窺える。時期は中期後葉である。



#### 4 土坑 (第46～73図：PL.10～18・25～27・29・31・33・35・38～49・60・61)

縄文時代の土坑は小型で円形または不正形なものと、ほぼ円形で比較的大型(径120cm以上)のものに大別される。この大型の土坑については、底が平らで、深さ50～70cmのものが主体で、一部に深さが1mを超えるものが散見される。これら、比較的大型の土坑については、土器片や礫を伴うものと、ほとんど遺物が見られないものが見られる。遺物を伴わない土坑については、径1m程度の円形で、深さは1m弱、ほぼ垂直に掘り込まれており、底が平らであるという特徴を示す。6-234、260、261、268号土坑、7-65～68号土坑、8-13号土坑などが該当するものである。以下各区ごとに概要を記す。

##### 4区

7基を調査した。4-120号土坑は縁に礫を廻る柱穴状を呈すが、これらの礫が人為的に配されたものかは不明である。4-122・125号土坑は円形で径は1mを超える、深さは50cm程ある。他はいずれも小規模で形状は不定形である。出土遺物に関してはほとんど見られない。

##### 6区

比較的大型の6-232・233・260・261・264・266・267・268号土坑は掘り込みもしっかりしており、底も平坦である。石器、土器片が出土している。また、6-234号土坑はほぼ垂直に掘り込まれ、深さも1.2mを超えている。若干の土器片が出土しており、陥し穴の可能性がある。

##### 7区

7-65～68号土坑は、ほぼ円形で径は1.3m前後、深さは70～90cmで形態が類似し、調査区の南端に近接して検出されている。いずれも出土遺物は見られず。埋土も近似する。陥し穴の可能性もある。また、6-83号土坑は長方形で垂直に掘り込まれる。形態的に時期はやや下る可能性もある。その他の土坑については形状が不定形で掘り込みも浅いものが多く、木などの根による攪乱なども含まれている可能性がある。

##### 8区

土坑は9基を検出したが、縄文時代の土坑と判断されたものは8-13号のみである。円形で径約1m、深さは60cmで底が平らである。2片の縄文土器が出土している。

##### 15区

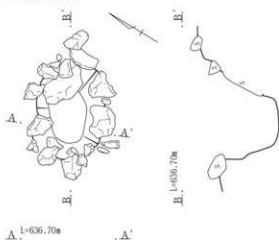
本区の土坑に関しては、調査範囲が傾斜地ということもあり、検出されたほとんどの土坑(特に1面目)は掘り込みの状況や、埋土の観察などから、人為的な遺構ではないと判断されたものが多かった。遺物の出土した土坑についても、明らかに人為的な掘り込みと判断されたものは数基にとどまる。ほとんどが、小ピット状で、掘り込みも浅いものが多く、根による攪乱なども含まれているものと思われる。また、比較的大型のものも、掘り込みが浅く、地形的な落ち込みである可能性もある。

これらの中で比較的状态が良く、縄文時代の所産と判断された土坑は、15-73・39号土坑である。15-73号土坑は、径約1.1mでほぼ円形を呈す、検出時の深さは10cm程で浅い。遺物は南寄りに集中して見られた。比較的大型の破片と若干の小破片が出土している。時期は後期前葉である。15-39号土坑は径1.4m、深さ約50cmを測る。やはり後期の底部片が出土している。

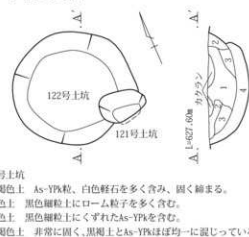
##### 96区

96-14・18・19・28・31・34・36・37・39・41・46・50号土坑は円形で径1m以上、深さも50cmを超えるものである。土器片、石器などが出土している。土器の時期はいずれも中期後葉であるが、96-50号土坑出土のものは、早期段階に位置付けられるが、遺構に伴うものかは不明である。

4-120号土坑

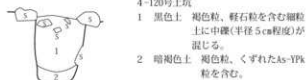


4-122号土坑



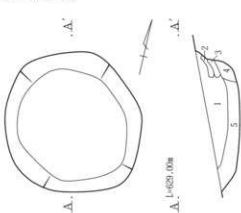
- 4-122号土坑
- 1 暗褐色土 As-YPK粒、白色軽石を多く含み、固く締まる。
  - 2 褐色土 黒色細粒土にローム粒子を多く含む。
  - 3 褐色土 黒色細粒土にくずれたAs-YPKを含む。
  - 4 黒褐色土 非常に固く、黒褐色土とAs-YPKほぼ均一に混じっている。

4-120号土坑



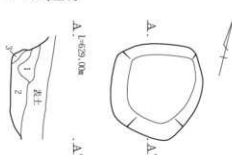
- 1 黒色土 褐色粒、軽石粒を含む細粒土に中礫(半径5cm程度)が混じる。
- 2 暗褐色土 褐色粒、くずれたAs-YPK粒を含む。

4-125号土坑



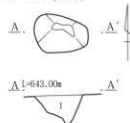
- 4-125号土坑
- 1 にふい黄褐色土 ローム粒子、As-YPK粒を含む。
  - 2 黄褐色土 ロームブロック。
  - 3 白黄褐色土 As-YPK粒ブロック。
  - 4 にふい黄褐色土 5に多くのローム粒子が混入する。
  - 5 黒褐色土 ローム粒、As-YPK粒に黒色土が混じる。

4-123号土坑



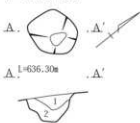
- 4-123号土坑
- 1 黒褐色土 黒褐色土に表土が混じる。
  - 2 黒褐色土 黒褐色土にAs-YPK粒が混じる。
  - 3 黒褐色土 黒褐色土にAs-YPK粒をやや多く含む。

5-1276号土坑

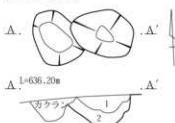


- 5-1276号土坑
- 1 暗褐色土 ローム塊、As-YPKを少量含む。締まり弱い。

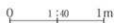
6-216号土坑



6-217号土坑



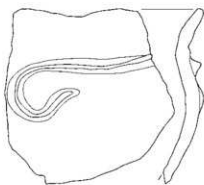
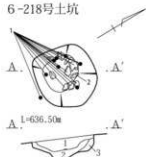
- 6-216・217号土坑
- 1 黒色土 若干のローム粒子含む。
  - 2 暗褐色土 1よりローム粒子多い。



第46図 土坑(1) 4・5・6区土坑(縄文時代)

第3章 検出された遺構と遺物

6-218号土坑

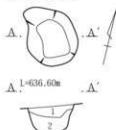


6-218土-1

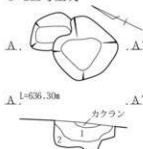


6-218土-2

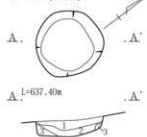
6-221号土坑



6-222号土坑



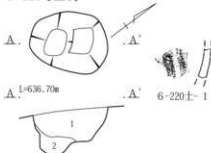
6-224号土坑



6-219号土坑

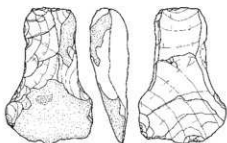
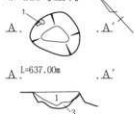


6-220号土坑

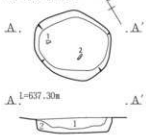


6-223土-1

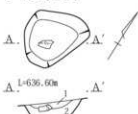
6-223号土坑



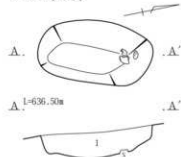
6-225号土坑



6-226号土坑



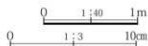
6-227号土坑



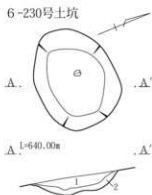
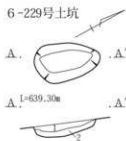
6-225土-1 6-225土-2

6-218 ~ 227号土坑

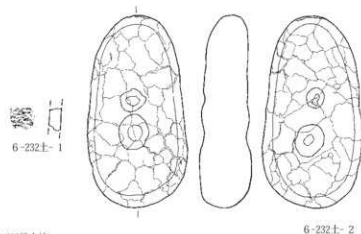
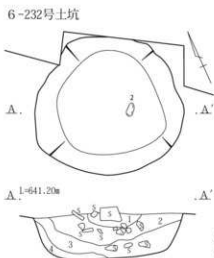
- 1 黒色土 若干のローム粒子含む。
- 2 暗褐色土 1よりローム粒子多い。
- 3 暗黄褐色土 ロームブロック多く含む。



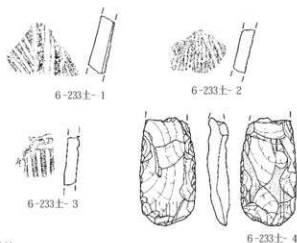
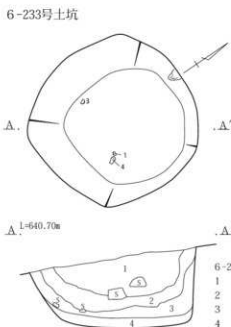
第47図 土坑(2) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物



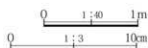
6-229・230号土坑  
 1 黒色土 若干のローム粒子含む。  
 2 暗黄褐色土 ロームブロック多く含む。



6-232号土坑  
 1 黒色土 細粒でやや軟質。  
 2 暗黒褐色土 ローム粒多く含み締まりあり。  
 3 暗黒褐色土 2と似るがロームを若干含む。  
 4 黄褐色土 ロームブロック主体とする。



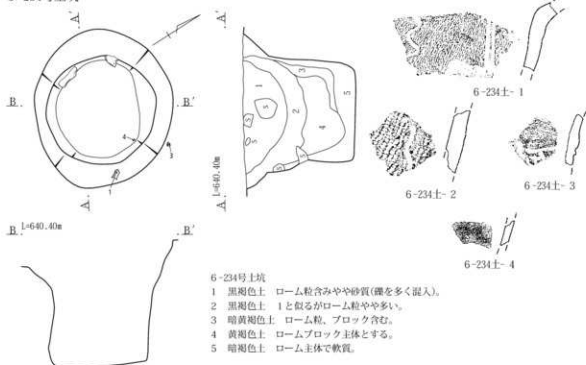
6-233号土坑  
 1 黒褐色土 ローム粒含みややや砂質(礫を多く混入)。  
 2 黒褐色土 1と似るがローム粒やや多い。  
 3 暗黄褐色土 ローム粒、ブロック含む。  
 4 暗黒褐色土 炭化物多く含む。



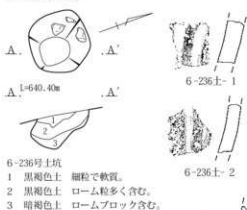
第48図 土坑(3) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

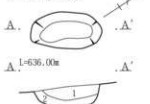
6-234号土坑



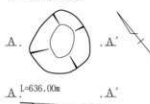
6-236号土坑



6-237号土坑



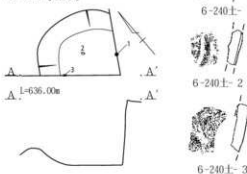
6-238号土坑



6-237・238号土坑

- 1 黒色土 ローム粒含み極まりあり.  
 2 黄褐色土 ロームブロック多く含む.

6-240号土坑

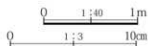


6-241号土坑

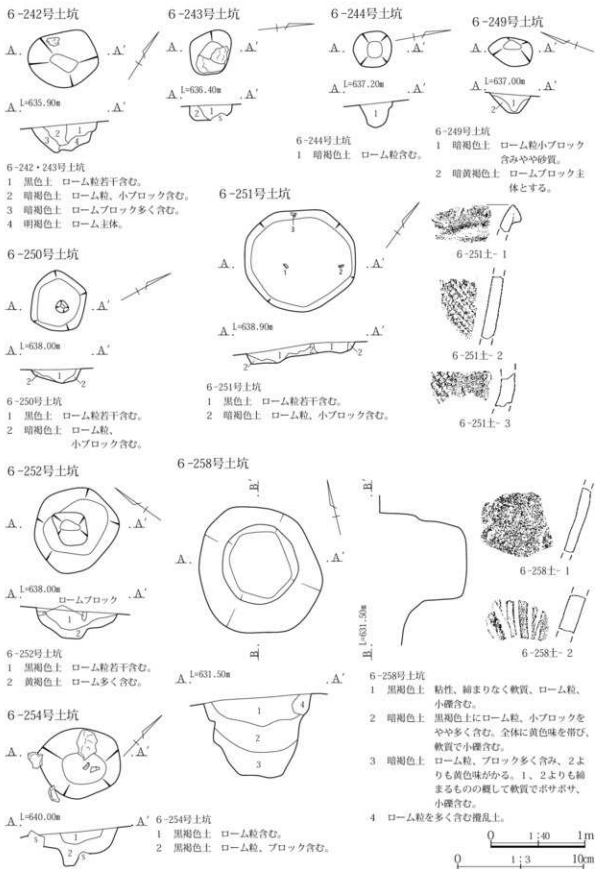


6-241号土坑

- 1 黒色土 ローム粒若干含む.  
 2 暗褐色土 ローム粒、小ブロック含む.



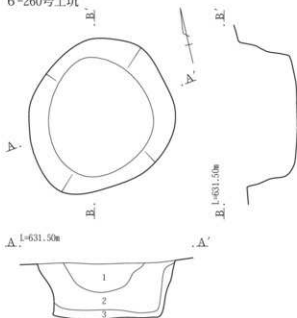
第49図 土坑(4) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物



第50図 土坑(5) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

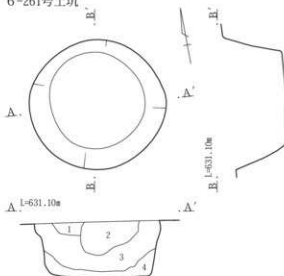
6-260号土坑



6-260号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、ローム小ブロック含む。
- 2 黒色土 ローム粒、ローム小ブロックやや多く含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒、ローム小ブロック多く含む。

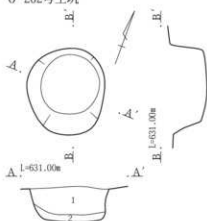
6-261号土坑



6-261号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒を全体に含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒多く、ローム小ブロックを少量含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒僅かに含む。
- 4 黒褐色土 ローム粒全体に含む、やや明るい色調。

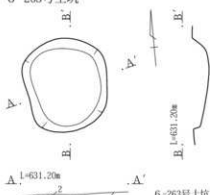
6-262号土坑



6-262号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒少量含む、軟質。
- 2 黒褐色土 ローム粒、ローム小ブロックをやや多く含む、軟質。

6-263号土坑



6-263号土坑

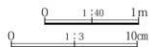
- 1 黒色土 ローム粒少量含む。
- 2 ロームブロック。



6-263土-1

6-263土-2

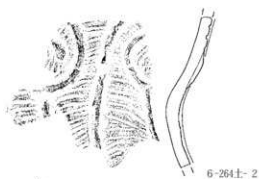
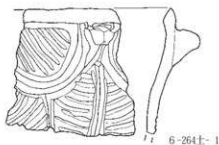
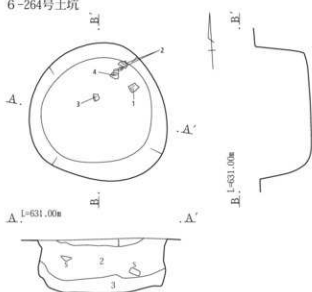
6-263土-3



第51図 土坑(6) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物

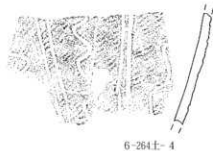


6-264号土坑

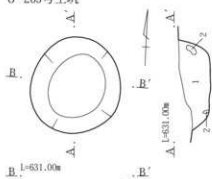


6-264号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒僅かに含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒、ローム小ブロックをやや多く含む。
- 3 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック、黒褐色土の混上。



6-265号土坑

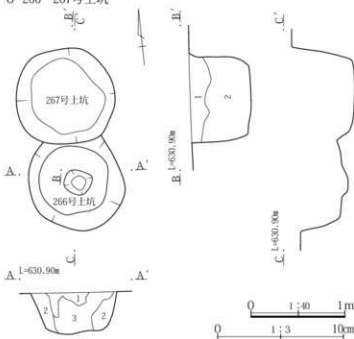


- 1 黒色土 締まりあり。
- 2 ロームブロック。

6-266号土坑

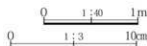
- 1 黒褐色土 ローム粒を全体に含み、軟質。
- 2 黒褐色土 ローム粒、小ブロック含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒、ブロック目立つ。

6-266・267号土坑



6-267号土坑

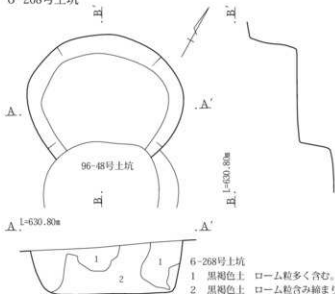
- 1 黒色土 ローム粒少量含む。
- 2 ローム粒、ブロックやや多く含む。



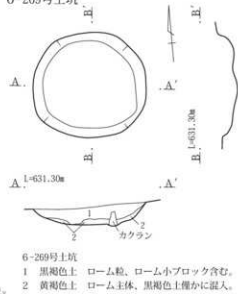
第52図 土坑(7) 6区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

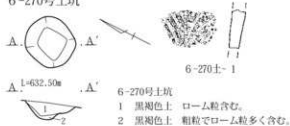
6-268号土坑



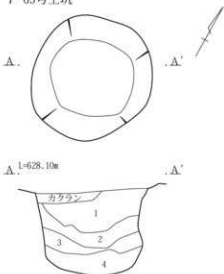
6-269号土坑



6-270号土坑

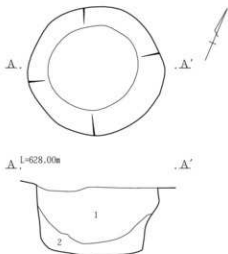


7-65号土坑

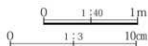


- 7-65号土坑 全体的に稀あり 縄文土坑か？
- 1 黒褐色土 稀まった黒色土にローム粒(φ2~20mm)7~15%混入。
  - 2 黒褐色土 1に似ている。ローム粒3~7%と少ない。
  - 3 黒褐色土 1に似ている。ローム粒1より多い。
  - 4 黒褐色土 1に加えAs-YPK粒5~10%混入。

7-66号土坑

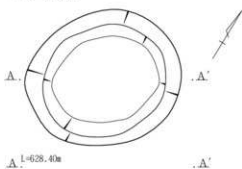


- 7-66号土坑 全体的に稀あり 縄文土坑か？
- 1 黒褐色土 φ2~20mmのローム粒3~7%混入。
  - 2 黒褐色土 稀まった黒色土にローム粒(φ2~20mm)7~15%混入。As-YPK粒5~10%混入。



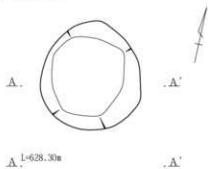
第53図 土坑(8) 6・7区土坑(縄文時代)、出土遺物

7-67号土坑



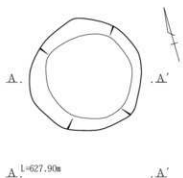
- 7-67号土坑 全体的に締まりあり 縄文土坑か？  
 1 黒褐色土 65上1に似ている。加えてφ5～30mmバミス5～10%混入。  
 2 黒褐色土 φ2～20mmのローム粒3～7%混入。  
 3 黄褐色土 ロームのくずれ混み。黒褐色土10～20%含む。  
 4 黒褐色土 締まった黒色土にローム粒(φ2～20mm)7～15%混入。As-YPK粒5～10%混入。

7-68号土坑



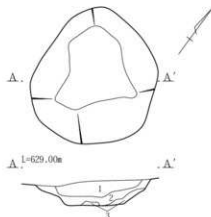
- 7-68号土坑 全体的に締まりあり 縄文土坑か？  
 1 黒褐色土 65上1に似ている。加えてφ5～30mmバミス5～10%混入。  
 2 黒褐色土 φ2～20mmのローム粒3～7%混入。  
 3 褐色土 φ5～30mmのバミス7～10%混入。ロームブロック7～10%。

7-69号土坑



- 7-69号土坑 全体的に締まりあり 縄文土坑か？  
 1 暗褐色土 ロームブロック10～20%混入。  
 2 褐色土 ローム質土。暗褐色土10～20%含む。

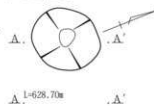
7-70号土坑



- 7-70号土坑  
 1 黒色土 ローム粒含む。  
 2 黒褐色土 ロームブロック若干含む。  
 3 黄褐色土 ロームブロック多く含む。

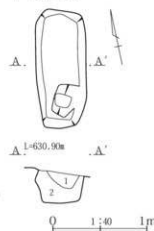
- 7-73号土坑  
 1 黒色土 バミス1%と少ない。  
 2 黒色土 1に似ている。加えてロームブロック3～5%混入。

7-72号土坑



- 7-72号土坑  
 1 黒色土 ローム粒含む。

7-73号土坑

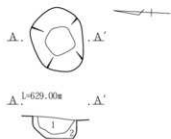


0 1:40 1m

第54図 土坑(9) 7区土坑(縄文時代)

第3章 検出された遺構と遺物

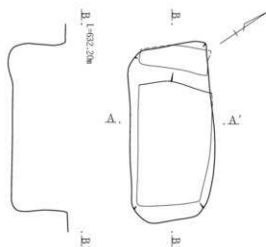
7-82号土坑



7-82号土坑

- 1 暗褐色土 締まった土。ローム粒5～10%混入。
- 2 暗褐色土 締まった土。ローム粒少ない。

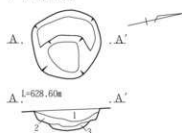
7-83号土坑



7-83号土坑

- 1 黒色土 ロームブロック10～20%混入。
- 2 黒色土 締まりなし。
- 3 黒色土 締まり少しあり。

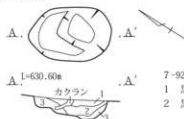
7-91号土坑



7-91号土坑

- 1 黒色土 ローム粒子若干含む。
- 2 黄褐色土 ロームブロック主体で黒色土ブロック層に含む。
- 3 黄褐色土 ローム主体。

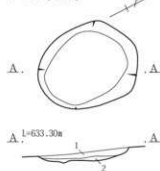
7-92号土坑



7-92号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒子含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック若干含む。
- 3 暗黄褐色土 ロームブロック多く含む。

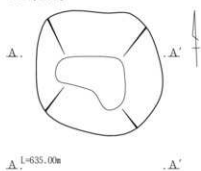
7-101号土坑



7-101号土坑

- 1 黒色土 ローム小粒、ブロック含む。
- 2 黄褐色土 ローム小ブロック多く含む。

7-102号土坑



7-102号土坑

- 1 黒褐色土 ロームブロック(As-YPK)多く含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒子含む。
- 3 黄褐色土 ロームブロック多く含む。

0 1:40 1m

第55図 土坑(10) 7区土坑(縄文時代)

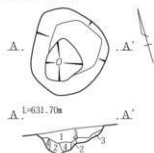
7-108号土坑



7-108号土坑

- 1 黒色土 ローム粒僅かに含む。
- 2 黒褐色土 ごく少量のローム粒含む。
- 3 黄褐色土 ロームブロック多く含む。

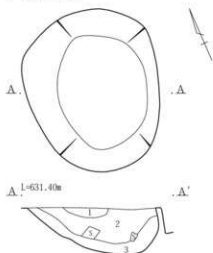
7-109号土坑



7-109号土坑

- 1 暗褐色土 締まりのない細粒土。As-Yp%が少々入る。
- 2 暗褐色土 締まりのない細粒土。ローム粒子が混じる。
- 3 暗黄褐色土 ローム粒子が多く入る。
- 4 黄褐色土 ロームブロック主体で暗褐色土が僅かに混じる。

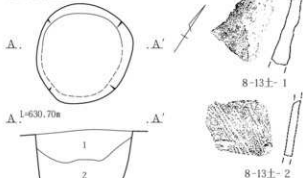
7-112号土坑



7-112号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒含むが1より少ない。
- 3 黒褐色土 ロームブロック多く含む。

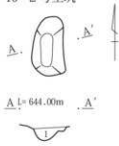
8-13号土坑



8-13号土坑

- 1 黒褐色土 バミス1~3%混入。
- 2 黄褐色土 黄色バミスを多く(φ1~10mmバミス3~5%)含む。傾斜地のため上からのくずれにより堆積した層か?

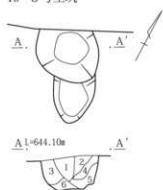
15-2号土坑



15-2号土坑

- 1 暗褐色土 ローム塊、As-Yp%を少量含む。締まり弱い。

15-3号土坑



15-3号土坑

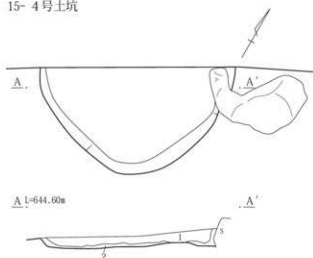
- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-Yp%を少量含む。やや締まりあり。
- 2 暗褐色土 ローム塊、As-Yp%を少量含む。締まり弱い。
- 3 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-Yp%を少量含む。やや締まりあり。
- 4 暗褐色土 ローム塊、As-Yp%を全体に含む。
- 5 にくい黄褐色土 ローム粒、塊を多量に含む。やや粘質性を伴う。
- 6 黄褐色土 ローム主体、黒色土塊を含む。



第56図 土坑(11) 7・8・15区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

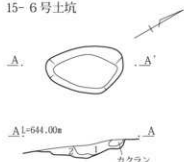
15-4号土坑



15-4号土坑

- 1 黒褐色土 As-YPK, 細粒明赤褐色軽石を少量含む。やや締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土 ローム塊を多量に含む。As-YPKを少量含む。

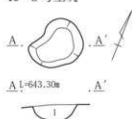
15-6号土坑



15-6号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。
- 2 にぶい黄褐色土 As-YPK, ローム塊を多量に含む。細粒明赤褐色軽石を少量含む。

15-9号土坑



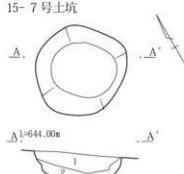
15-9号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

15-10号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

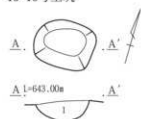
15-7号土坑



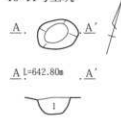
15-7号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。
- 2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を含む。小礫を混入する。

15-10号土坑



15-11号土坑



15-11号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

15-12号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

15-5号土坑



15-5号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。やや締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土 ローム塊を多量に含む。As-YPKを少量含む。

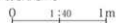
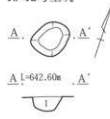
15-8号土坑



15-8号土坑

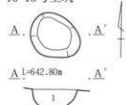
- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

15-12号土坑



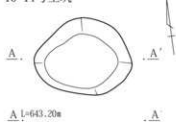
第57図 土坑(12) 15区土坑(縄文時代)

15-13号土坑



- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

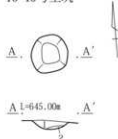
15-14号土坑



15-14号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を含む。小礫を混入する。

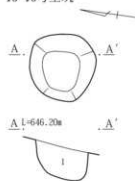
15-15号土坑



15-15号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を含む。小礫を混入する。

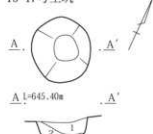
15-16号土坑



15-16号土坑

- 1 褐灰色土 細粒明赤褐色軽石を僅かに含む。小礫を混入する。締まりない。

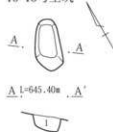
15-17号土坑



15-17号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を多量に含む。粘質土。

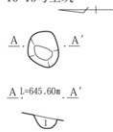
15-18号土坑



15-18号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。

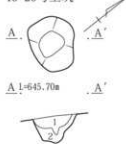
15-19号土坑



15-19号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。締まりない。

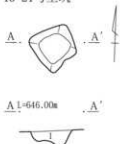
15-20号土坑



15-20号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を多量に含む。粘質土。

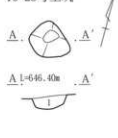
15-21号土坑



15-21号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。締まりない。

15-23号土坑



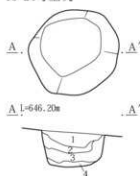
15-23号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、ローム土を含む。粘質土。

15-24号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、ローム土を含む。粘質土。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を多量に含む。  
3 暗褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを含む。  
4 褐色土 ローム土を多量に含む。

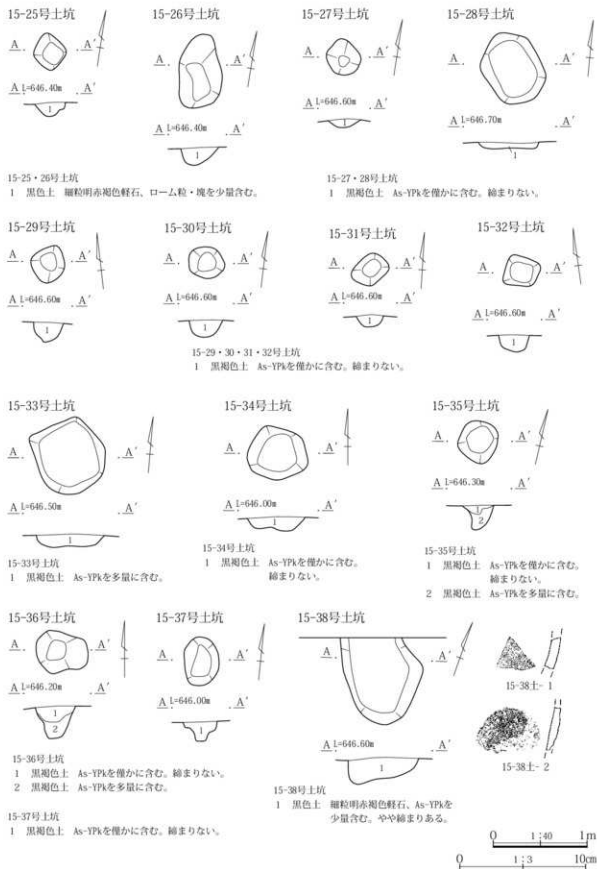
15-24号土坑



0 1:40 1m

第58図 土坑(13) 15区土坑(縄文時代)

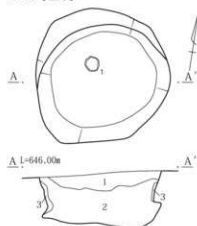
第3章 検出された遺構と遺物



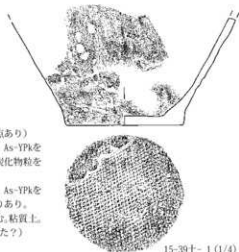
第59図 土坑(14) 15区土坑(縄文時代)、出土遺物



15-39号土坑



- 15-39号土坑(袋状の土坑 土器1点あり)  
 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。僅かに炭化物粒を含む。  
 2 暗褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを全体に含む。締まりあり。  
 3 暗褐色土 As-YPKを多量に含む、粘質土。(底部に粘土を張った?)



15-39土-1(1/4)

15-40号土坑



15-40号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。やや締まりある。

15-41号土坑



15-41号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。やや締まりある。

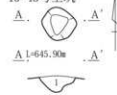
15-42号土坑



15-42号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを少量含む。やや締まりある。  
 2 暗褐色土 細粒明赤褐色軽石含む、粘質。

15-43号土坑



15-43号土坑

- 1 黒褐色土 As-YPKを僅かに含む。締まりない。

15-44号土坑



15-44号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを僅かに含む。締まりない。



15-44土-1

15-44土-2

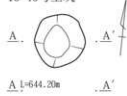
15-45号土坑



15-45号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。

15-46号土坑



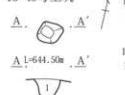
15-46号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。

15-47号土坑



15-48号土坑

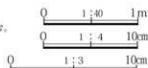


15-47号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。

15-48号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。締まりない。



第60図 土坑(15) 15区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

15-49号土坑



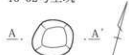
A L=645.50m



15-49号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。粘質性を伴う。

15-52号土坑



A L=645.70m



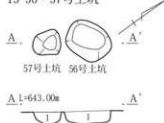
15-52号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPkを少量含む。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

15-54号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPkを少量含む。

15-56・57号土坑



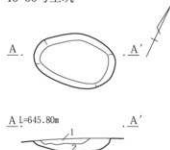
15-56・57号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、小礫を混入する。締まりない。

15-58号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、小礫を混入する。締まりない。

15-50号土坑



A L=645.80m



15-50号土坑

- 1 黒褐色土 As-YPkを僅かに含む。締まりない。  
2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

15-53号土坑



A L=644.80m



15-53号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

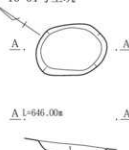
15-54号土坑



A L=645.00m



15-51号土坑



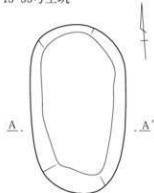
A L=646.00m



15-51号土坑

- 1 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

15-55号土坑



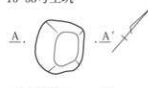
A L=642.90m



15-55号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPkを少量含む。  
2 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPkを少量含む。

15-58号土坑



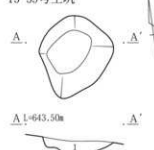
A L=643.20m



15-59号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石を混入する。締まりない。

15-59号土坑

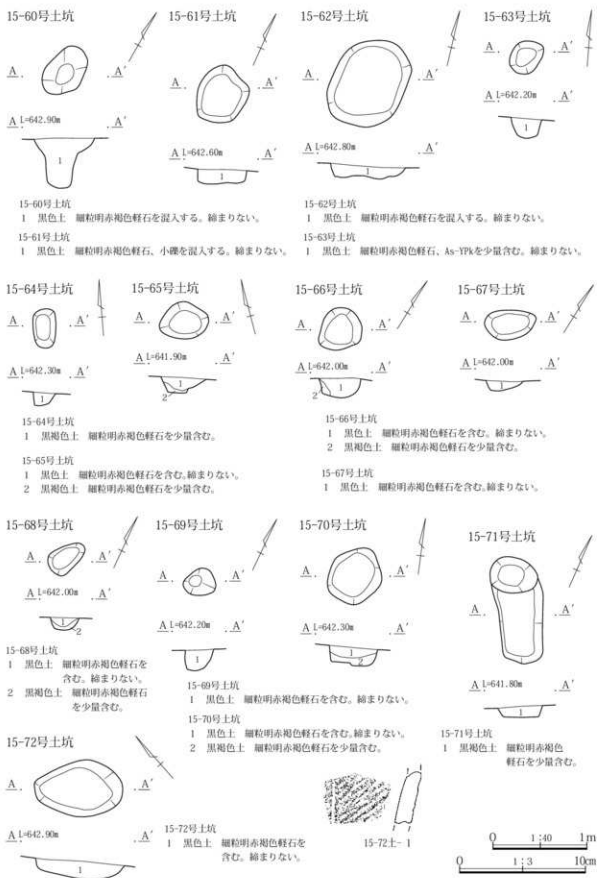


A L=643.50m



0 1:40 1m

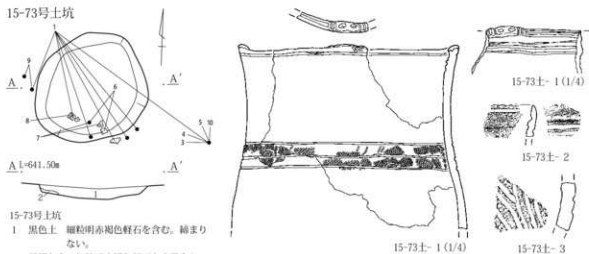
第61図 土坑(16) 15区土坑(縄文時代)



第62図 土坑(17) 15区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

15-73号土坑



15-73号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石を含む。締まりない。
- 2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。



15-74号土坑



15-74号土坑

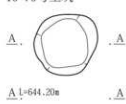
15-74号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、小礫(大)を混入する。締まりない。

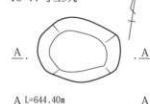
15-75号土坑



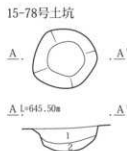
15-76号土坑



15-77号土坑



15-78号土坑



15-75号土坑

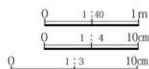
- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石を含む。締まりない。
- 2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

15-77号土坑

- 1 黒色土 細粒明赤褐色軽石、As-YPKを含む。締まりない。
- 2 黒褐色土 細粒明赤褐色軽石を少量含む。

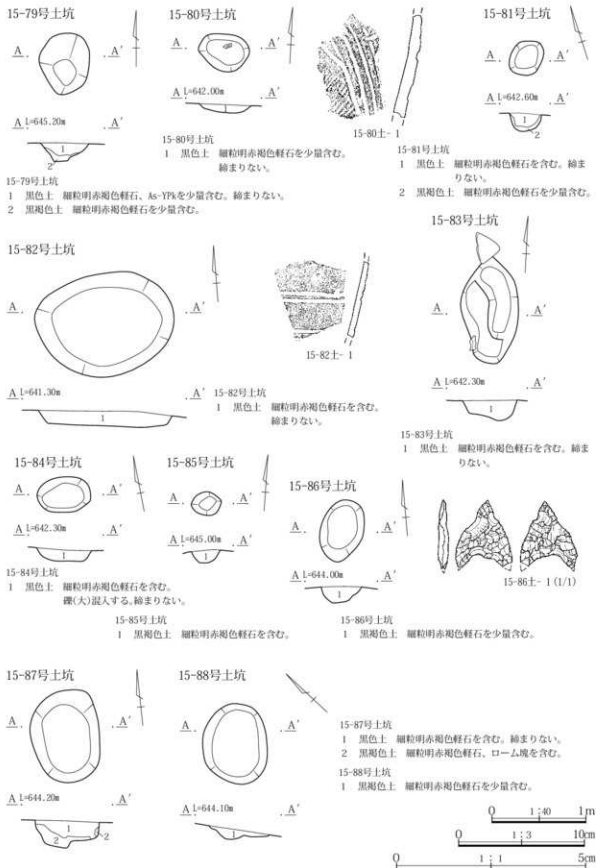
15-78号土坑

- 1 黒色土 As-YPKを多量に含む。
- 2 黒褐色土 As-YPKを多量に含む。細粒明赤褐色軽石を少量含む。



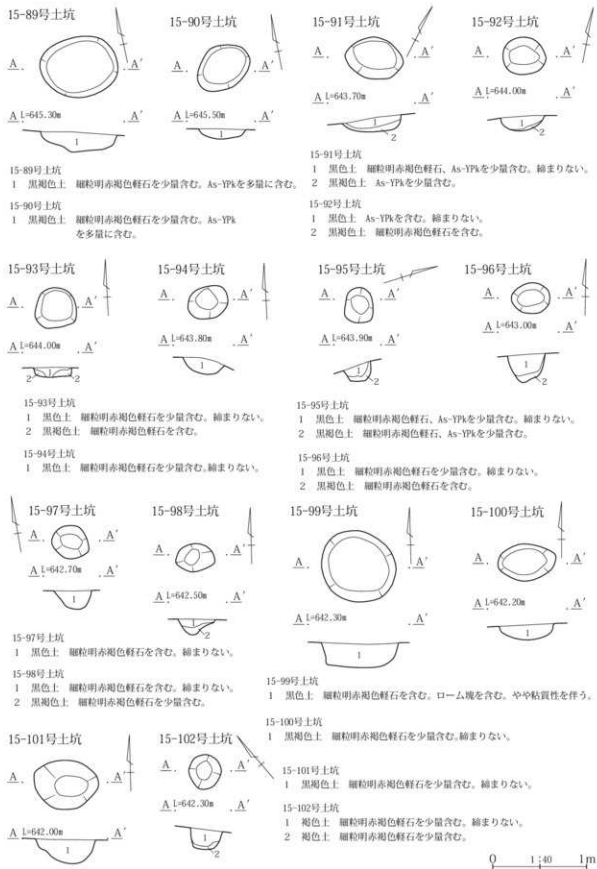
第63図 土坑(18)15区土坑(縄文時代)、出土遺物

第2節 縄文時代の遺構と遺物



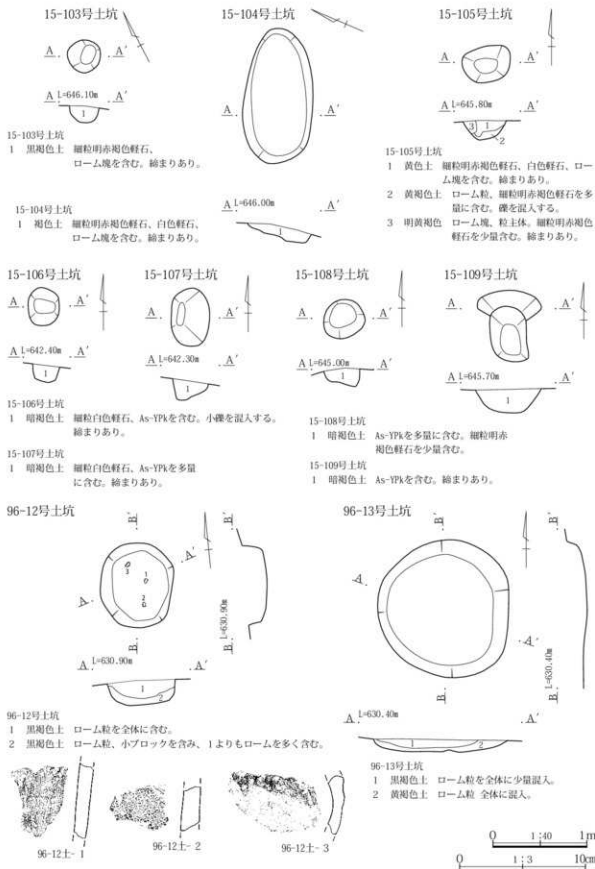
第64図 土坑(19) 15区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物



第65図 土坑(20) 15区土坑(縄文時代)

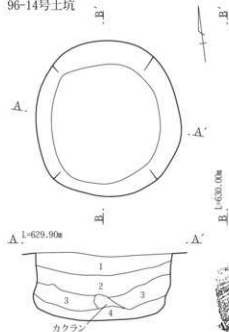
第2節 縄文時代の遺構と遺物



第66図 土坑(21) 15・96区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

96-14号土坑



96-14号土坑

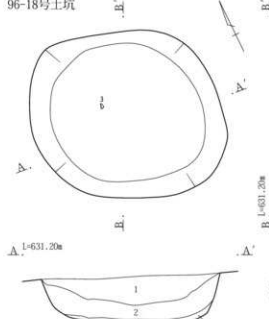
- 1 黒褐色土 黄色軽石を全体に混入。
- 2 褐色土 黄色軽石を少量混入。
- 3 黄褐色土 ローム塊を少量混入。
- 4 にぶい黄褐色土 軽石を混入し、  
締まり強い。

96-14上-1



96-14上-2

96-18号土坑



96-18号土坑

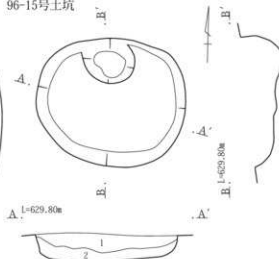
- 1 黒褐色土 ロームブロック全体に混入、軽石少量含む。
- 2 黒褐色土 ロームブロック全体に混入、締まり弱く黄色軽石含む。
- 3 黄褐色土 ローム粒全体に含む。

96-18上-2



96-18上-3

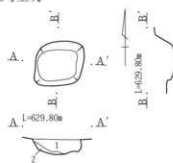
96-15号土坑



96-15号土坑

- 1 黒褐色土 ロームブロックを混入。
- 2 黄褐色土 ロームブロックを全体に混入。

96-16号土坑



96-16号土坑

- 1 黒褐色土 締まりなく軟質、ローム粒を少量混入。
- 2 黄褐色土 ロームブロックを全体に混入。

96-18上-1



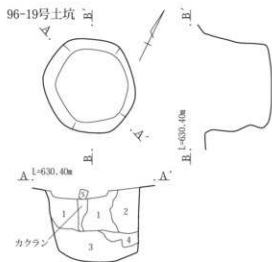
96-18上-4

0 1:40 1m

0 1:3 10cm

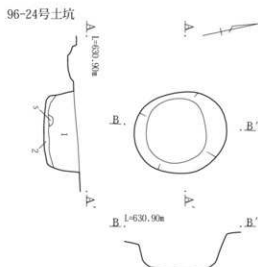
第67図 土坑(22) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物





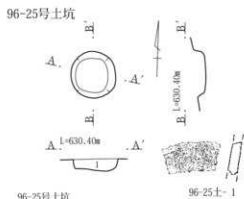
96-19号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒、ブロックを全体に含み、軟質。
- 2 黒褐色土 ローム粒少量、ロームブロックを含む。
- 3 黄褐色土 ローム土体、暗褐色土少量含む。
- 4 黒褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。



96-24号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒を少量混入、細まり弱い。
- 2 褐色土 ロームブロック全体に混入、やや細まりあり。



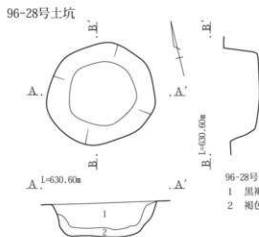
96-25号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、ブロックを全体に含む。



96-26号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒含み、ロームブロック少量混入。
- 2 褐色土 ローム粒を全体に混入、ロームブロック少量含む。
- 3 黄褐色土 ローム粒を多量に含み細まりなし。



96-28号土坑

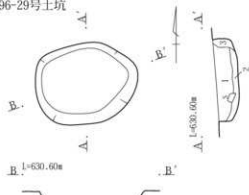
- 1 黒褐色土 ローム粒を全体に混入。
- 2 褐色土 ローム粒、ロームブロックを混入する。



第68図 土坑(23) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

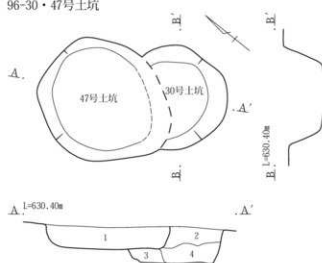
96-29号土坑



96-29号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒を全体に混入。
- 2 褐色土 ロームブロック全体に混入。
- 3 黄褐色土 ローム粒を多量に混入。

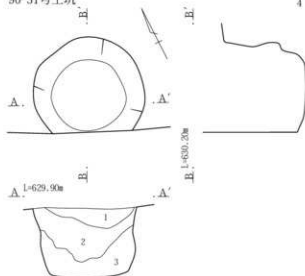
96-30・47号土坑



96-30・47号土坑

- 1 褐色土 ローム粒全体に混入、締まりなし。
- 2 褐色土 ローム粒を混入。
- 3 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む軟質。
- 4 黄褐色土 ロームブロック多く含む。

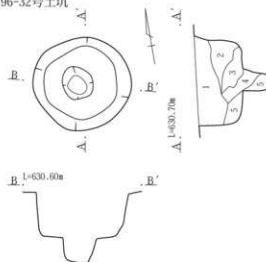
96-31号土坑



96-31号土坑

- 1 黒褐色土 軽石を多量に混入、やや締まりあり。
- 2 褐色土 やや粘質性あり、軽石少量上層に含む。
- 3 黄褐色土 ローム主体、軽石を少量混入、締まりあり。

96-32号土坑



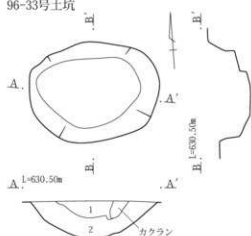
96-32号土坑

- 1 黒褐色土 全体にローム粒を多く含む。
- 2 黒褐色土 1よりもロームブロックを多く含む、やや粘性を持つ。
- 3 明黄褐色土 ロームブロック、ローム粒主体で締まり強い。
- 4 黄褐色土 ロームブロック、ローム粒、黒褐色土を全体に含む。
- 5 明黄褐色土 3と近似するが、ロームブロック多く含む。

0 1:40 1m

第69図 土坑(24) 96区土坑(縄文時代)

96-33号土坑



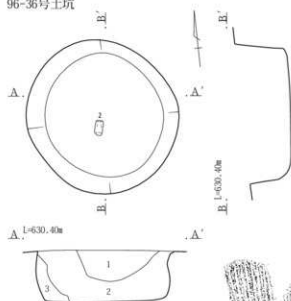
96-33号土坑

- 1 褐色土 ローム粒を少量混入し、締まりなく軟質。
- 2 黄褐色土 下層にロームブロック(大)を混入、ローム粒を少量混入、締まり弱い。

96-34号土坑

- 1 黒褐色土 軽石を少量混入し軟質。
- 2 黒色土 軽石を全体に含む。ローム粒少量含む。
- 3 黒褐色土 ローム粒全体に混入しやや締まりあり。
- 4 褐色土 ローム粒含み粘性あり。

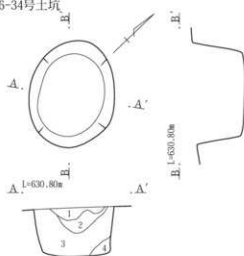
96-36号土坑



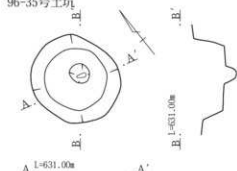
96-36号土坑

- 1 黒色土 ローム粒、ブロック少量混入、やや粘性あり。
- 2 黒褐色土 全体にローム粒、ブロック混入、やや締まりあり。
- 3 黒褐色土 ローム粒少量混入、締まりなし。

96-34号土坑



96-35号土坑

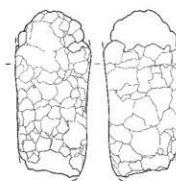


96-35号土坑

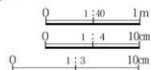
- 1 黒色土 全体にロームブロック、ローム粒混入し、締まりあり。



96-36土-1



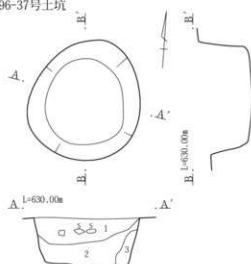
96-36土-2 (1/4)



第70図 土坑(25) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

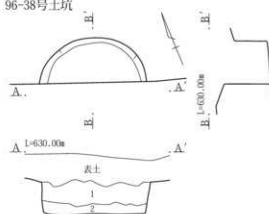
96-37号土坑



96-37号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒全体に混入、やや締まりあり。
- 2 褐色土 ローム粒、ロームブロック少量混入。
- 3 黄褐色土 ローム主体で締まりなし。

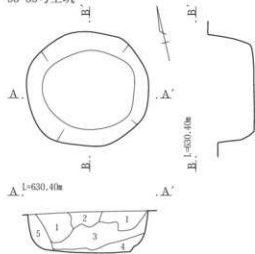
96-38号土坑



96-38号土坑

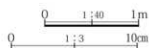
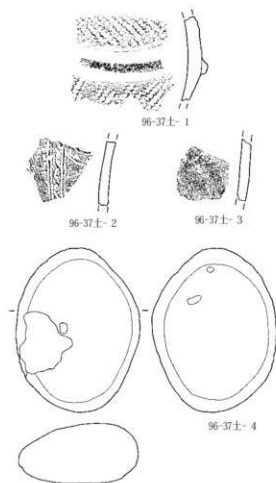
- 1 黒色土 ローム粒を少量混入、締まり強い。
- 2 黒褐色土 下層にロームブロック、ローム粒含む。

96-39号土坑



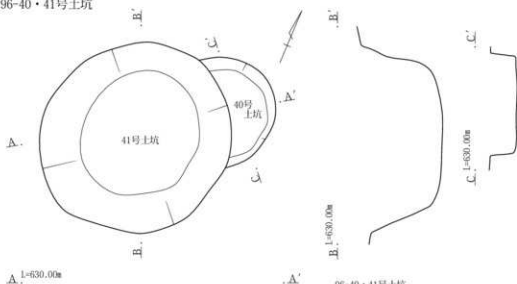
96-39号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒を少量混入し、締まり強い。
- 2 にぶい黄褐色土 全体にローム粒、ブロックを混入、締まりなし。
- 3 褐色土 ロームブロックを全体に混入、左側一部に粘性を持つ黄褐色土ローム混入。
- 4 黄褐色土 ロームブロックを全体に混入、やや締まりあり。
- 5 明黄褐色土 ローム主体で、黒色土を僅かに混入。



第71図 土坑(26) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物

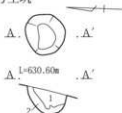
96-40・41号土坑



96-40・41号土坑

- 1 黒色土 褐色土混入し、締まりなし。
- 2 黒色土 軽石を多量に混入、締まりなし。
- 3 褐色土 軽石含みロームブロック全体に含む。
- 4 黒褐色土 軽石を少量混入。
- 5 明黄褐色土 ローム主体で、黒色土混入。
- 6 黒色土 ローム粒を少量混入。(40土)

96-44号土坑

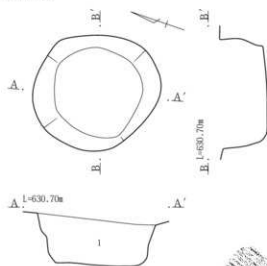


96-44号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒(大)多く含む。



96-46号土坑

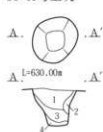


96-46号土坑

- 1 暗褐色土 ローム粒、ブロックを多く含む、全体に黄色味がかる。



96-45号土坑



96-45号土坑

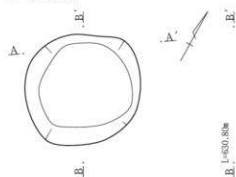
- 1 黒褐色土 ローム粒含む。
- 2 黒褐色土 ローム粒(大)多く含む。
- 3 黄褐色土 ロームブロックを多量に含む軟質。
- 4 黄褐色土 ローム多く含む。



第72図 土坑(27) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物

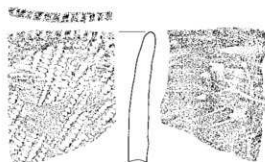
第3章 検出された遺構と遺物

96-48号土坑

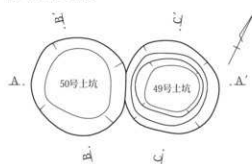


96-48号土坑

- 1 黒色土 若干のローム粒含み、ぼさつく。
- 2 黒色土 1と近似するがやや締まりあり。
- 3 黒褐色土 ローム粒多く含む。
- 4 黒褐色土 ローム粒、ブロック含む。
- 5 暗黄褐色土 ローム粒、ブロック多く含む。
- 6 暗黄褐色土 ロームブロック目立ちやや締まりあり。



96-49・50号土坑



96-50土 1(1/2)



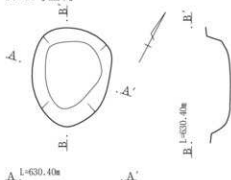
96-49号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒含み、やや軟質。
- 2 黒褐色土 ローム粒、ブロック含む、軟質。
- 3 黒褐色土 ロームブロック多く含む。

96-50号土坑

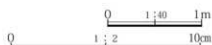
- 1 黒色土 砂質で締まり弱い。
- 2 黒褐色土 やや大きいロームブロックが点在する。
- 3 黒褐色土 ローム粒、ブロック含む軟質。
- 4 ローム粒多く含む。

96-51号土坑



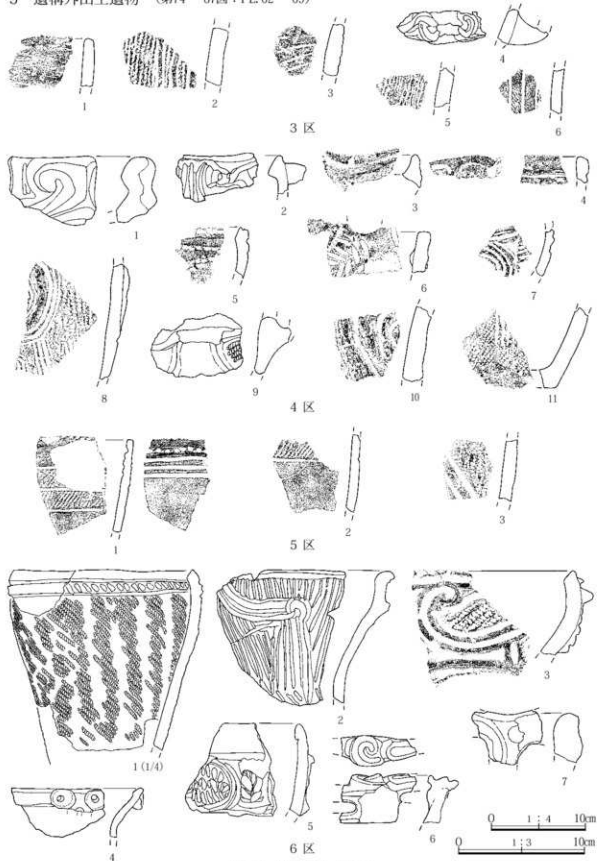
96-51号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒含む。
- 2 黒褐色土 粗粒でローム粒多く含む。



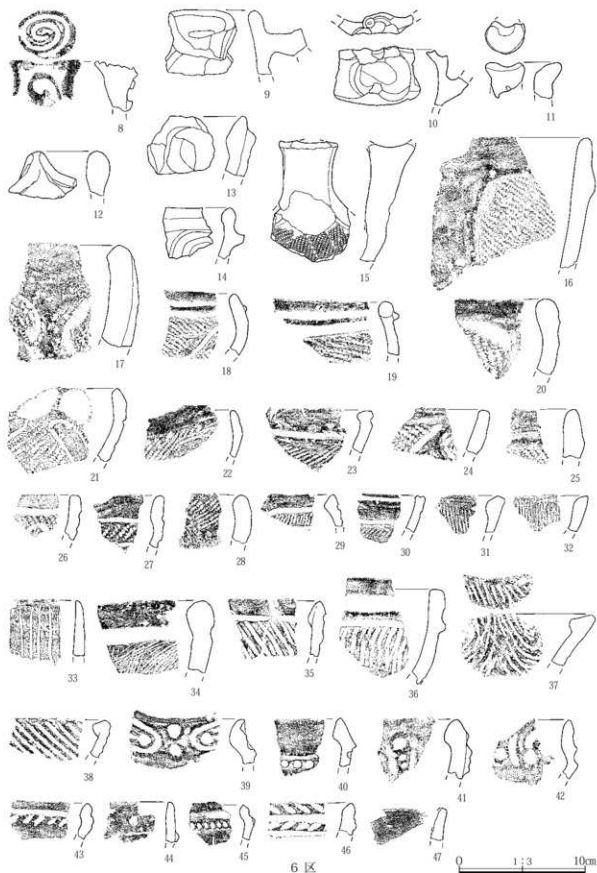
第73図 土坑(28) 96区土坑(縄文時代)、出土遺物

5 遺構外出土遺物 (第74～87図：PL.62～69)



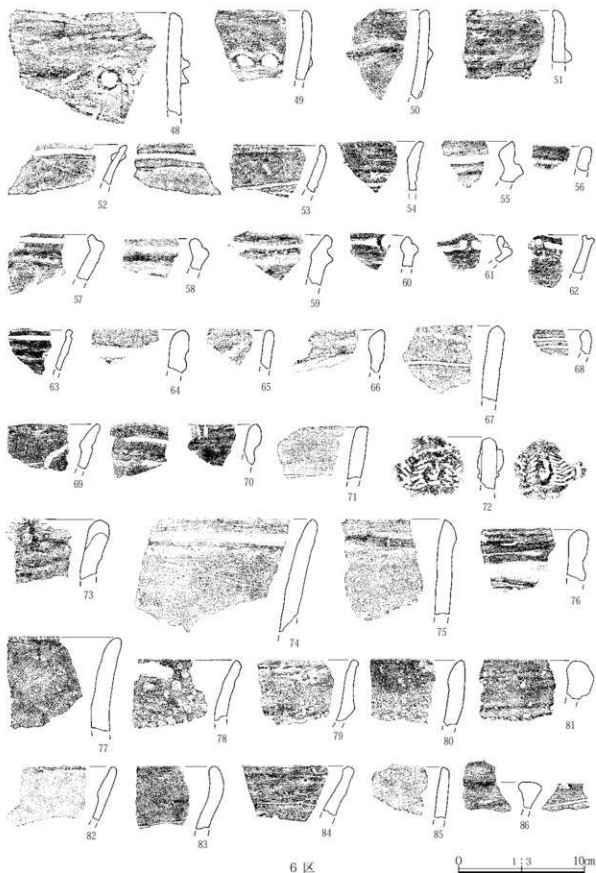
第74図 遺構外出土土器(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第75図 遺構外出土土器(2)

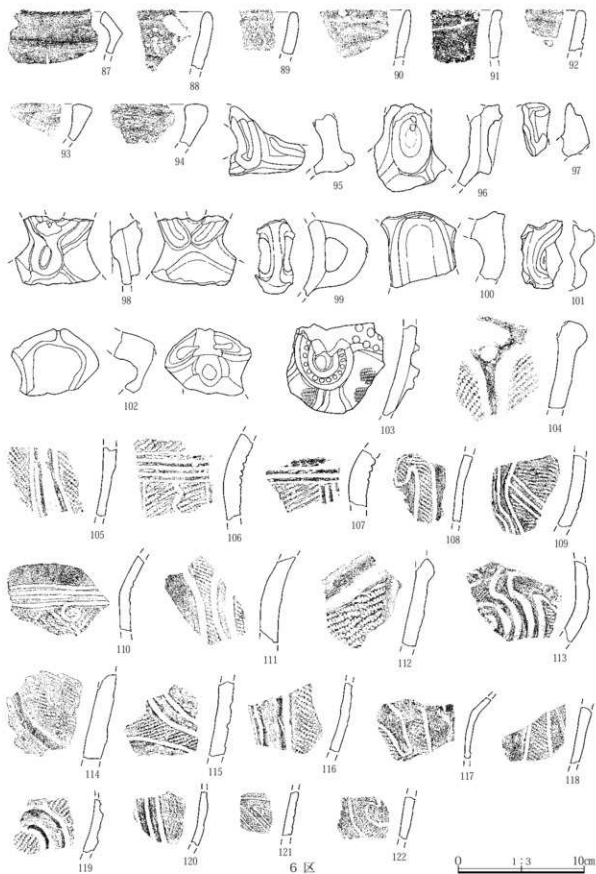




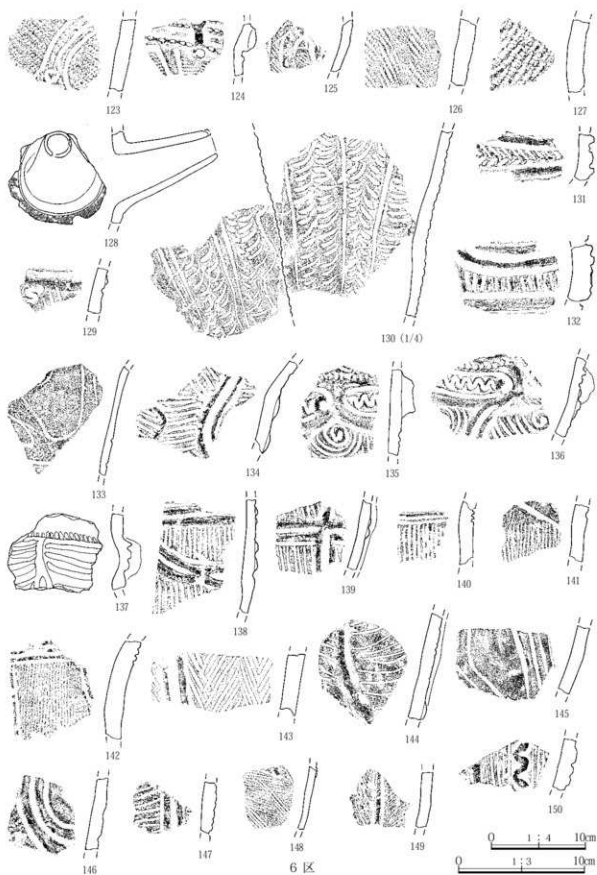
6区

第76図 遺構外出土土器(3)

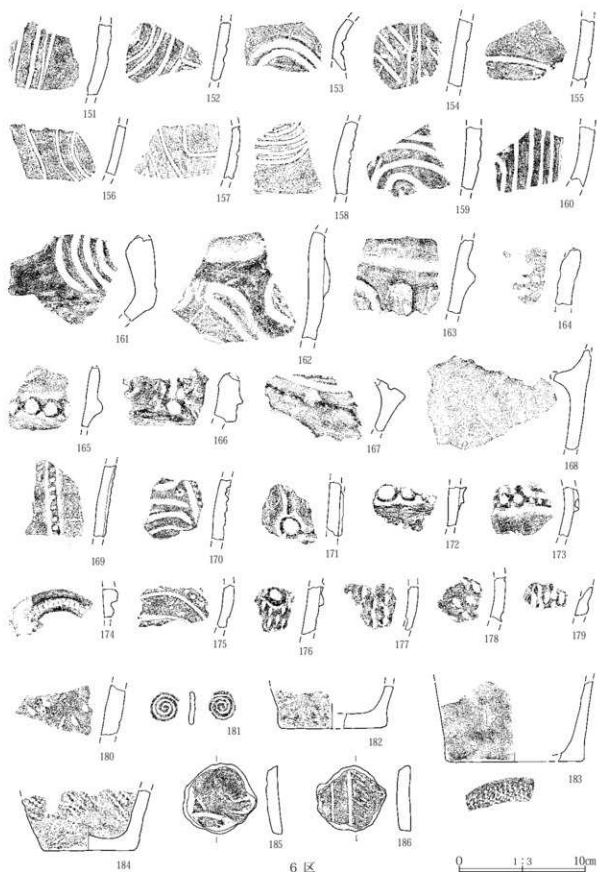
第3章 検出された遺構と遺物



第77図 遺構外出土土器(4)

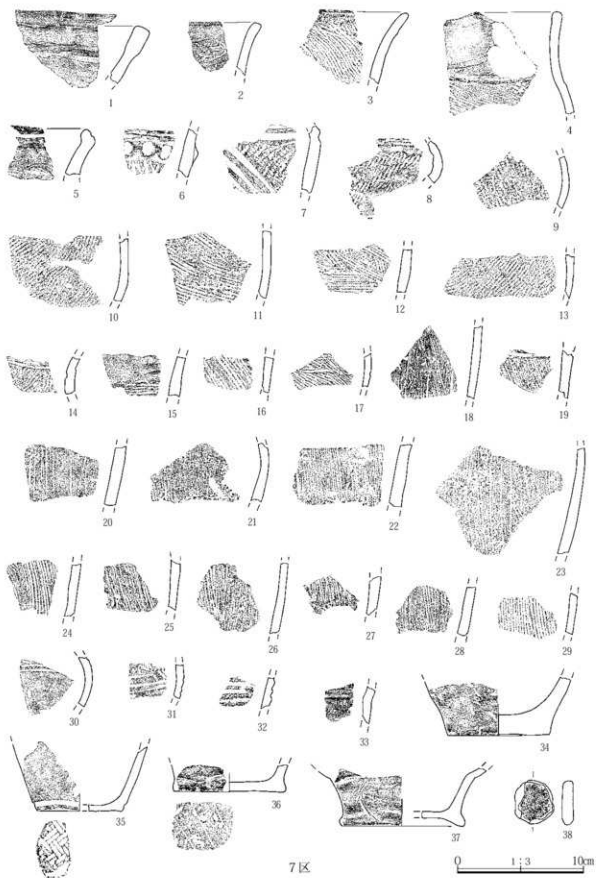


第78図 遺構外出土土器(5)



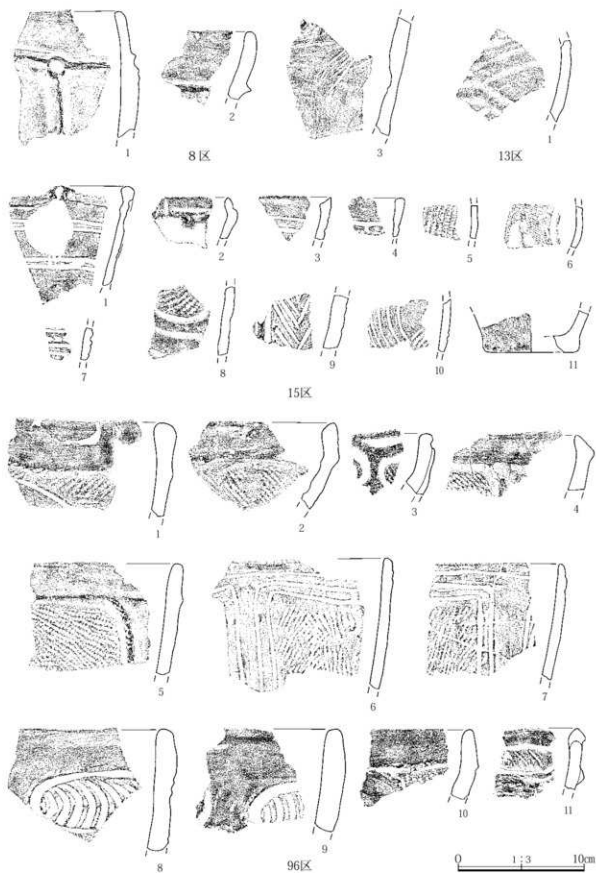
6区

第79図 遺構外出土土器(6)



第80図 遺構外出土土器(7)

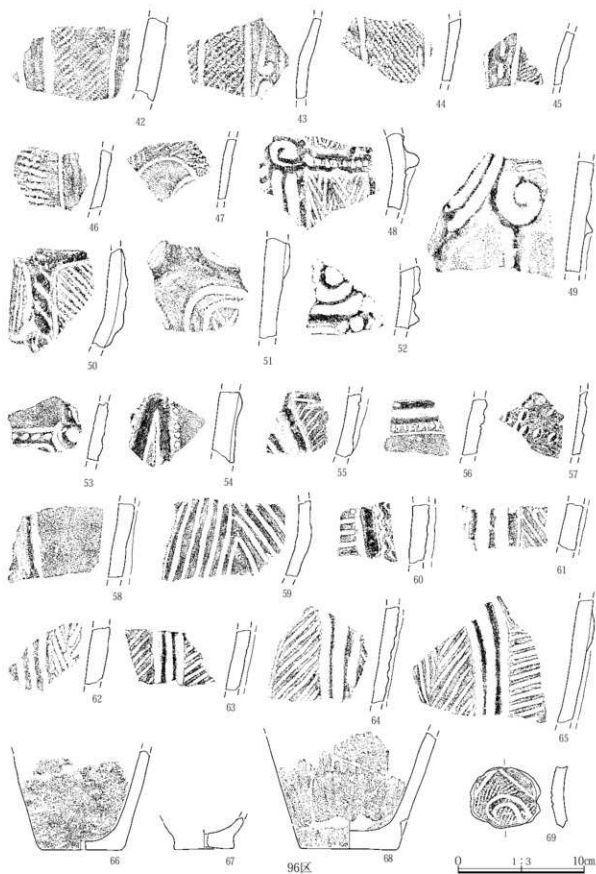
第3章 検出された遺構と遺物



第81図 遺構外出土土器(8)

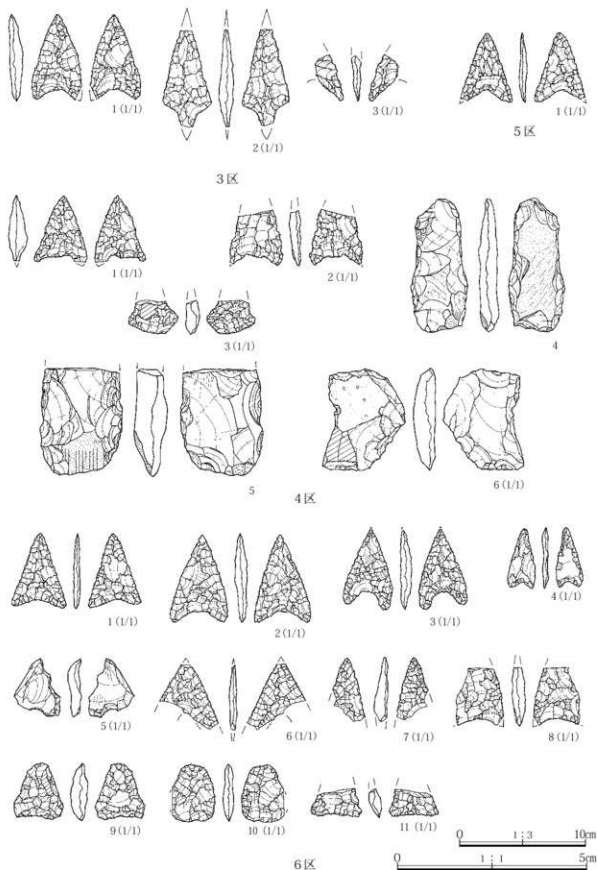


第82図 遺構外出土土器(9)



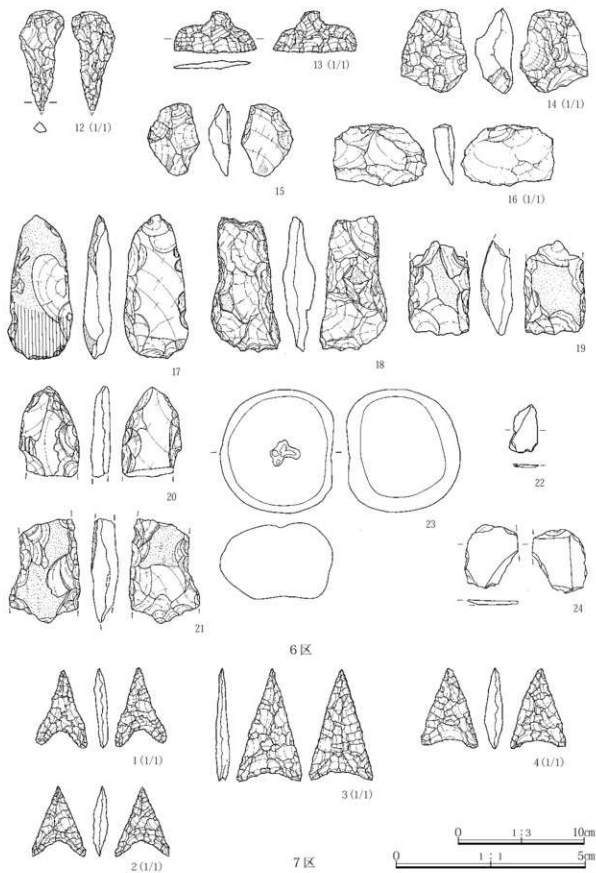
第83図 遺構外出土土器(10)



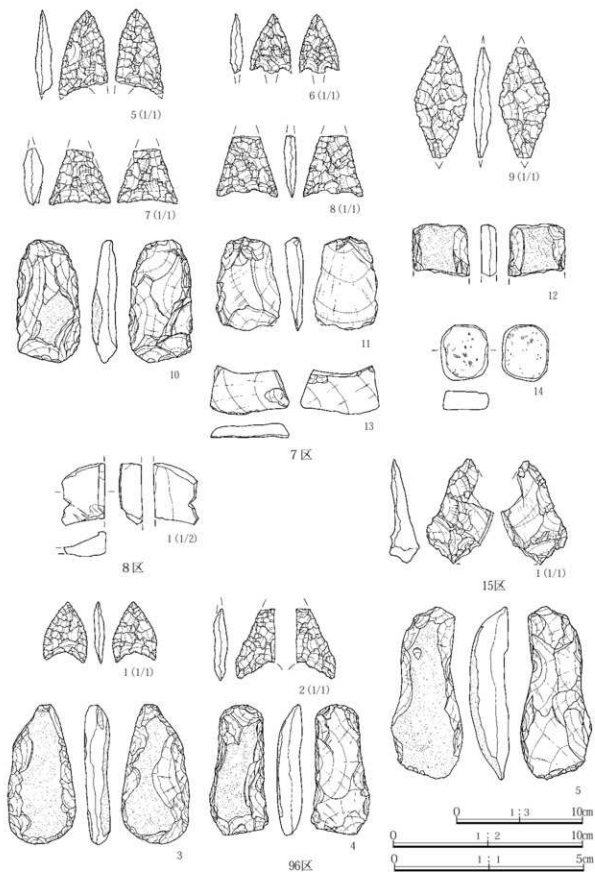


第84図 遺構外出土石器(1)

第3章 検出された遺構と遺物

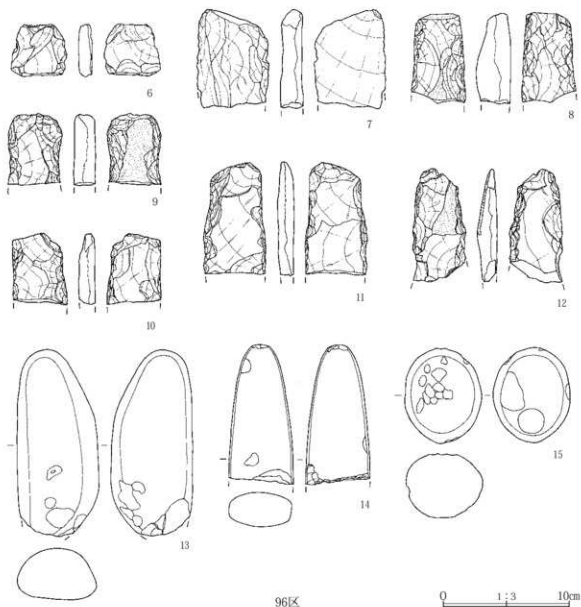


第85図 遺構外出土石器(2)



第86図 遺構外出土石器(3)

第3章 検出された遺構と遺物



第87図 遺構外出土石器(4)